

モクレポ



○エバーフィールド木材加工場（熊本県上益城郡甲佐町）撮影：くもとアートポリス
※令和7年度木材利用推進コンクール優良施設部門（林野庁長官賞）

令和8年9月

No.60

特集

- 令和9年度林野庁関係予算概算要求の概要
- 令和9年度林野庁関係税制改正要望事項の概要
- 「原木需給モニタリングレポート」を公表
- 第6回APEC林業担当大臣会合
- 建築物木材利用促進協定を締結 株式会社西武ホールディングス
× 株式会社西武不動産 × 株式会社西武・プリンスホテルズワールド
ワイド × 西武鉄道株式会社 × 国（農林水産省）

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

林野庁

CONTENTS 令和8年9月号

特集	1 令和9年度林野庁関係予算概算要求の概要	・・・1
	2 令和9年度林野庁関係税制改正要望事項の概要	・・・2
	3 「原木需給モニタリングレポート」を公表	・・・4
	4 第6回APEC林業担当大臣会合	・・・5
	5 建築物木材利用促進協定を締結 株式会社西武ホールディングス×株式会社西武不動産 ×株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド×西武鉄道株式会社×国（農林水産省）	・・・6
01	基礎的指標	
	1 新設住宅着工戸数	・・・7
	2 新設住宅着工床面積 ＜参考＞非居住用建築物着工床面積	・・・8
	3 木材産業の業況	・・・10
	4 USドル及びユーロ為替相場	・・・11
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	・・・12
	6 中国の木材輸入量の動向	・・・13
02	木材価格情報	
	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	・・・14
	2 木材価格（農林水産統計）	・・・16
03	木材需給情報	
	1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	・・・27
	2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	・・・28
	3 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	・・・29
	4 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	・・・30
	5 素材生産量	・・・31
	6 木材生産の産出額	・・・32
04	林産物輸出入情報	
	1 林産物輸出額	・・・33
	2 木材輸出額	・・・34
	3 木材輸入額	・・・35
	4 木材輸入量	・・・36
	5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	・・・42
05	特用林産情報	
	1 特用林産物の国内生産量	・・・43
	2 特用林産物の産出額	・・・44
	3 特用林産物の輸出入量	・・・45
	4 特用林産物の輸出額	・・・46
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	・・・49
	6 きのこと類の卸売数量・単価	・・・50
06	セミナー・イベント情報	
	9月中旬以降の開催情報	・・・51
お知らせ	GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）	・・・52
	FORESTRISE 2026	・・・54
	クリーンウッド法 木材の合法性確認を支援します！	・・・55
	林業DX・デジタル林業実践よろず相談窓口を開設しました！	・・・57
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	・・・58
	林業・木材産業災害復旧対策保証の概要	・・・59
	みどり認定を受けてみませんか？	・・・60
	森林保険に関するお知らせ	・・・62
	企業における森業のプログラム活用 普及動画＆パンフレットのご案内	・・・63

- 農林水産省は、2026年8月31日に令和9年度予算の概算要求を財務省に提出。
- 林野庁関係予算の概算要求総額は3,956億円（令和8年度予算額比127.1%）（+事項要求（※））。
内訳：公共事業費2,562億円（同128.6%）、非公共事業費1,393億円（同124.5%）

■ 令和9年度 林野庁関係予算概算要求（総括表）

区分	令和8年度 当初予算額 (億円)	令和9年度 概算要求額 (億円)	対前年度比 (%)
公共事業費	1,992	2,562	128.6
一般公共事業費	1,899	2,469	130.0
治山事業費	628	816	130.0
森林整備事業費	1,271	1,653	130.0
災害復旧等事業費	93	93	100.0
非公共事業費	1,120	1,393	124.5
合計	3,112	3,956(※)	127.1

注1：左記のほか、農山漁村地域整備交付金の中で、林野庁関係事業を措置している。

2：金額は、関係ベース。

3：計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

※ 「第1次国土強靱化実施中期計画」に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費、「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費及び飲食物品の消費税率の引下げに係る対応に係る経費については、事項要求として予算編成過程で検討。

■ 令和9年度 林野庁関係予算概算要求の概要

百年つづく「森の国・木の街」の礎の確立		予算概算要求総額 3,956 億円 うち『強く豊かな日本』投資枠』 370 億円
① 森林の集積・集約化、スマート林業技術の実装など川上から川下までの関係者の連携による生産性向上等の取組について、関連施策（②③④）の優遇措置により国産材サプライチェーン強靱化を重点的に支援		「森の国・木の街」創造連携イニシアティブ事業 83 億円（－）（注2）
② デジタル情報の基盤整備、スマート林業技術の導入環境整備、フィジカルA I等の先端技術を活用したスマート林業機械・機器等や木質系新素材の開発・実証、地域一体での林業DXの実現に向けた戦略拠点の構築等を支援		スマート林業等新技術推進総合対策 7 億円（3 億円）（注2）
③ 森林の集積・集約化、林業適地での重点的な路網整備と再生林の省力・低コスト化、先進的な林業機械の導入、木材加工流通施設の整備、都市の木造化、特用林産物の競争力強化、木育・森業等の推進		森林循環利用・付加価値創出対策 186 億円（92 億円）
④ 新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の者への給付金給付、林業経営体の安全診断などの労働安全対策等を推進		森と木の人材育成・確保総合対策 57 億円（49 億円）
⑤ スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉飛散量の予測・飛散防止等の取組を推進		花粉症解決に向けた総合対策 73 億円（0.4 億円）（注2）
⑥ 国土保全や森林の集積・集約化等に資する間伐、主伐後の再生林、林道の開設・改良、林野火災対策、クマ・シカ等対策等を推進		森林整備事業＜公共＞ 1,653 億円（1,271 億円）（注2）
⑦ 国直轄での集中的な復旧整備、予防治山対策による生活環境基盤の確保に資する緊急輸送道路の保全などの治山対策を推進		治山事業＜公共＞ 816 億円（628 億円）

注1：各項目の（ ）内は、令和8年度当初予算額

注2：『強く豊かな日本』投資枠』に一部又は全部が該当する事業

令和9年度予算概算要求の詳細については、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R9gaisan.html>



特集-2 令和9年度林野庁関係税制改正要望事項の概要

- 農林水産省は、2026年8月31日に令和9年度税制改正要望を財務省、総務省に提出。
このうち、林野庁関係要望事項は5件。

■ 令和9年度 林野庁関係税制改正要望事項

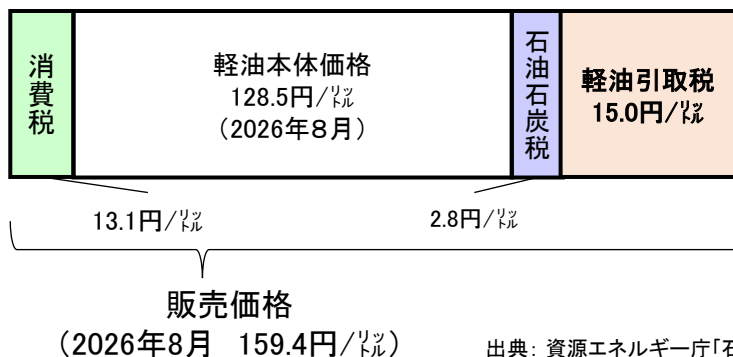
① 軽油引取税の課税免除の特例措置の3年延長

【軽油引取税】

【特例の概要】

- 林業・木材加工業・木材市場業・バーク堆肥製造業の事業者が、林業機械や木材の積卸し等に使用するフォークリフト等用の軽油については、免税証の交付手続きを経た上で軽油引取税(15.0円/リットル)が免除される。

【免税イメージ】



出典：資源エネルギー庁「石油製品価格調査」

【要望の内容】

現行の適用期限(2027年3月31日まで)を3年間延長(2030年3月31日まで)

② 農業協同組合等が一定の資金の貸付けを受けて取得した共同利用施設に係る課税標準の特例措置(取得価額のうち貸付金相当分を控除、上限1/2)の2年延長

【不動産取得税】

【制度の概要】

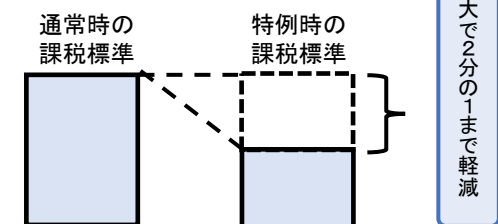
- 森林組合、森林組合連合会、生産森林組合、木材に関する事業を行う協同組合等が、日本政策金融公庫資金(沖縄県においては沖縄振興開発金融公庫資金)の貸付けを受けて取得した共同利用施設(木材加工施設等)については、不動産取得税の課税標準※1の算定において、取得価額に対する貸付額の割合(最大で1/2)を価格から控除。

※1 課税標準の計算式(参考:課税標準×税率(4%)=税額)

課税標準=価格-価格×(貸付額÷取得価額)※2

※2 下線部については1/2が上限

【制度のイメージ】



【要望の内容】

現行の適用期限(2027年3月31日まで)を2年間延長(2029年3月31日まで)

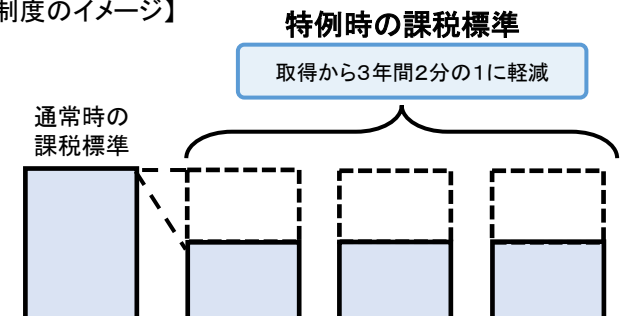
③ 農業協同組合等が一定の資金の貸付けを受けて取得した共同利用機械等に係る課税標準の特例措置(3年間、1/2)の2年延長

【固定資産税】

【制度の概要】

- 森林組合、森林組合連合会、中小企業等協同組合、協業組合等が、日本政策金融公庫資金(沖縄県においては沖縄振興開発金融公庫資金)、林業・木材産業改善資金の貸付けを受けて取得した共同利用に供する機械及び装置(林業機械、原木自動選別機等)については、固定資産税の課税標準を、取得から3年間は取得価格の1/2に軽減。

【制度のイメージ】



【要望の内容】

現行の適用期限(2027年3月31日まで)を2年間延長(2029年3月31日まで)

④ 中小企業者等が機械等を取得した場合の特別償却(30%)又は法人税額等の特別控除(7%)
[中小企業投資促進税制]の2年延長等

【所得税・法人税】(経産省等4省共管)

【制度の概要】

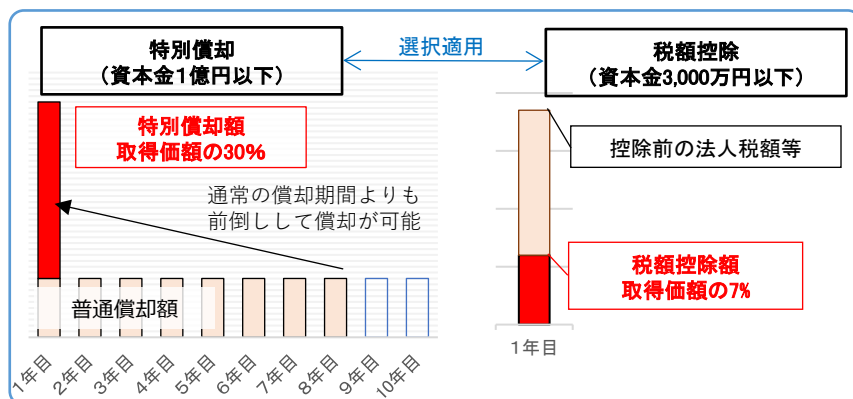
- ◆ 青色申告書を提出する中小事業者、中小企業者等※1が、機械装置等の対象設備※2を新規取得等して指定事業の用に供した場合、取得価額の30%の特別償却又は7%(資本金3,000万円以下の法人又は中小事業者)の税額控除が適用可能。

※1: 森林組合、森林組合連合会等を含む。

※2: 設備の種類や取得価額等の要件あり。(詳細については下記中企庁HP参照)

<https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/zeisei/tyuusyoutuoutousisokusinzeisei.html>

【制度のイメージ】



【要望の内容】

現行の適用期限(2027年3月31日まで)を2年間延長等(2029年3月31日まで)

⑤ 中小企業者等が特定経営力向上設備等を取得した場合の特別償却又は法人税額等の特別
控除(10%、資本金3千万円超の法人は7%) [中小企業経営強化税制]の拡充等

【所得税・法人税】(経産省等4省共管)

【制度の概要】

- ◆ 青色申告書を提出する中小事業者、中小企業者等※1が、中小企業等経営強化法の認定を受けた経営力向上計画に基づき一定の設備※2を新規取得等して指定事業の用に供した場合、特別償却(即時償却)又は取得価額の10%(資本金3,000万円超1億円以下の法人は7%)の税額控除を適用可能。

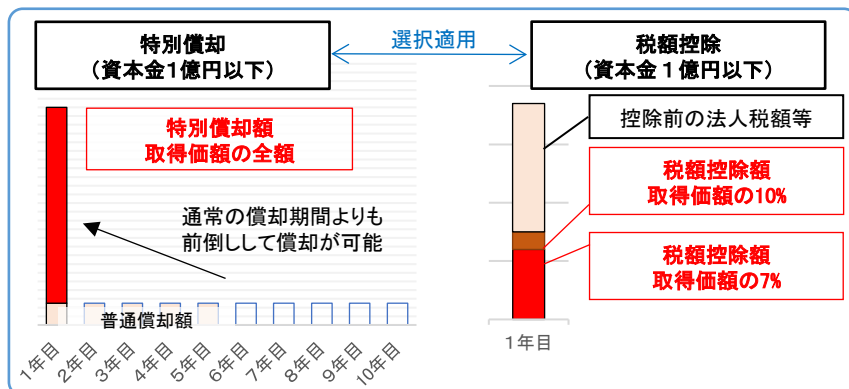
- ◆ 経営規模拡大設備等に該当することとなる建物及び付属設備の取得等を行った場合については、通常の減価償却に加えて取得価額の15%の特別償却、又は取得価額の1%の税額控除のいずれかを適用可能。

※1: 森林組合、森林組合連合会等は対象外。

※2: 対象設備の種類や取得価額等の要件あり。(詳細については、下記中企庁HP参照)

https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/kyoka_zeisei.html

【制度のイメージ】



【要望の内容】

現行の適用期限(2027年3月31日まで)を2年間延長等(2029年3月31日まで)

令和9年度税制改正要望事項の詳細は、次のURLをご覧ください。

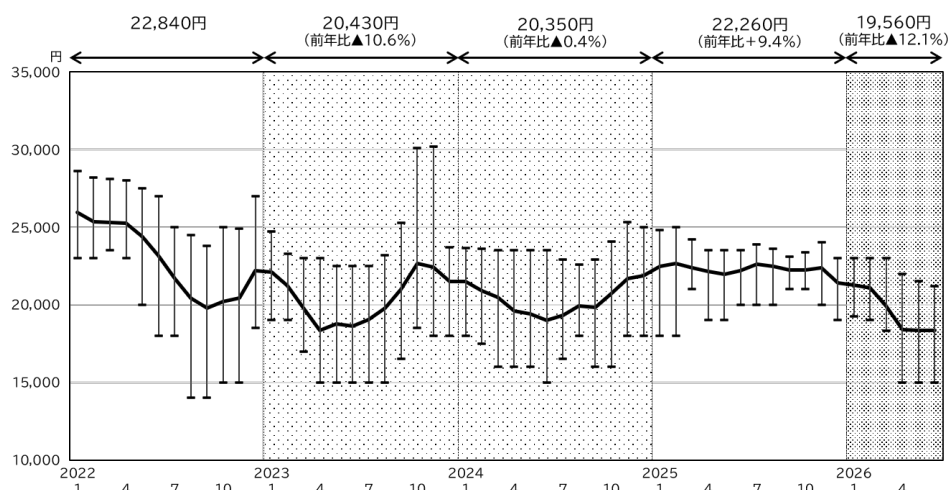
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/kinyu/index.html#zeisei>



- 林野庁では、原木価格が短期間で大きく変動した際に、データや聞き取り調査に基づき需給動向を取りまとめる「原木需給モニタリングレポート」を公表。本レポートは、合理的な価格形成や関係者の適切な経営判断に資することを目的。
- 今回のレポートでは、令和8年3月以降のヒノキ原木価格の下落状況や、その背景となった需給動向を分析。

■ 今回のレポートの概要

- ✓ ヒノキ原木価格は、令和8年3月以降、全国的に下落し、過去5年間で最も低い水準で推移していることが確認された。また、価格下落が大きい地域では、住宅需要の低迷等を背景として原木需要が弱含む中、一定期間、供給が需要を上回る状況となったことが、価格形成に影響を及ぼした可能性が示唆された。
- ✓ 一方、足元では素材生産の抑制等により需給調整が進み、原木の余剰感は縮小しているとの声も聞かれた。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：栃木県、静岡県、兵庫県、岡山県、広島県、愛媛県、高知県、熊本県及び大分県の原木市場・共販所の価格を集計したもの。（各県につき、代表的な原木市場・共販所を選定。）

注2：ヒノキ原木の中目材（径24cm程度、長さ3.65～4.0m）の価格。

注3：グラフの平均価格は、各市場・共販所（9か所）の価格を単純平均したもの。最高値及び最低値は、それぞれ各時点における9か所の市場・共販所のうち最も高い価格及び最も低い価格を示す。

■ 「原木需給モニタリングレポート」について

「原木需給モニタリングレポート」は、原木価格が短期間で大きく変動した際に、価格動向や需給状況、その背景などを、データや関係者への聞き取りに基づいて分析、公表するもの。

素材生産事業者、原木市場・共販所、製材工場などの関係者が需給動向を共有し、今後の生産・出荷・調達などに関する適切な経営判断を行うための参考情報としての活用に期待。

林野庁では、今後も原木需給や価格動向を継続的に把握・分析し、合理的な価格形成や関係者の適切な経営判断に資する情報を適時・適切に提供していく予定。

原木需給モニタリングレポート
（令和8年3月以降のヒノキ原木価格の動向と需給状況について）

令和8年8月
林野庁木材産業課

「原木需給モニタリングレポート（令和8年3月以降のヒノキ原木価格の動向と需給状況について）」の詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/rinyahp/attach/pdf/zigyousya-64.pdf>



- 2026年7月27日から28日まで、深セン（中国）において、「第6回APEC林業担当大臣会合」が開催。
- APECは、アジア太平洋地域の21の国と地域（エコノミー）が参加する経済協力の枠組みであり、「APEC林業担当大臣会合」は、域内の持続可能な森林経営の達成に向けて、情報共有や意見交換を行う目的で不定期に開催。
- 日本からは林野庁の谷村次長（当時）が出席。

■ 会合の概要

- 今次会合は「グリーンなアジア太平洋と、すべての人々の生態的幸福にむけて」(Towards a Green Asia-Pacific and Ecological Well-being for All)をテーマとして開催。
- 全体会合では中国国務院副総理を始めとする主催者挨拶、各エコノミーからのステートメントに続き、共同声明を採択。
- 会合に前後して、マングローブ植樹イベント、森林管理に関するドローンやロボット（林内モニタリング、消火活動、都市公園清掃用等）の展示、マングローブ林を含む都市公園の現地視察を実施。



（全体会合の様子）



（谷村次長によるステートメント）

■ 木材の循環利用の重要性について発信

- 日本からは、新たな「森林・林業基本計画」を踏まえ、「伐って、使って、植えて、育てる」という木材の循環利用とそれを支える技術開発・イノベーション（CLTの普及やスマート林業の推進等）、木材利用拡大の意義について発信。
- あわせて、森林浴や木材の温もり・香りが人の心身に与えるリラックス効果など、木や森林への理解醸成を通じた人々の生態的幸福の向上の重要性を訴えるとともに、ITTO・FAO・JICAを通じた持続可能な森林経営及び木材利用に向けた国際協力の取組を紹介。

■ 成果文書

- 会合の成果として、持続可能な森林経営の推進、生態系の保護・回復、民間セクターとの協力強化、違法伐採対策、マングローブを含む沿岸生態系の保全、合法的・持続可能な木材サプライチェーンの構築推進等を柱とする共同声明を採択。
- 日本は共同声明の議論において、建設分野等における木材利用の促進や、木や森林の価値を学ぶ教育活動（木育）の重要性を積極的に主張。これらのフレーズは共同声明に反映。木材を「使う」ことが森林を「保全する」という好循環の考え方をAPEC域内で広く共有。



（各エコノミー代表者との集合写真）

成果文書等の詳細については、林野庁ウェブサイトをご覧ください

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/apec/mmr6.html>



建築物木材利用促進協定を締結

株式会社西武ホールディングス×株式会社西武不動産×株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド×西武鉄道株式会社×国（農林水産省）

- ・「建築物木材利用促進協定」制度は、建築主となる事業者等と国又は地方公共団体が協定を締結し、建築物における木材利用を促進する制度。
- ・農林水産省は、2026年8月31日に国として34件目となる協定を株式会社西武ホールディングス、株式会社西武不動産、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド、西武鉄道株式会社と締結。

■ 株式会社西武ホールディングス、株式会社西武不動産、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド、西武鉄道株式会社との協定の概要

協定名：西武グループによる木材利用拡大に関する建築物木材利用促進協定

協定期間：2026年8月31日～2031年3月31日

対象区域：全国

主な取組：

- ① 今後5年間に建設を予定している建築物において、国産材の活用を中心に、可能な限り地域材の利用に努め、合計1,000立方メートルの木材を使用することを目指す。
- ② 宿泊施設、観光・レジャー施設、鉄道関連施設に係る建築物等の設計に際し、CLT、大断面集成材、LVL等、多様な木材製品の積極的な活用に取り組み、木質空間の創出に努める。
- ③ 保有する土地において、森林の植林と保育及び適切な伐採と伐採木の利用その他森林資源の循環に寄与する取組を積極的に推進する。
- ④ 木材利用の意義及びそのメリットについて、グループが経営又は運営する宿泊施設を始めとする各事業所において、イベントの開催やSNS等を活用した情報発信を積極的に行うとともに、木育活動の推進に努める。また、連結子会社へも同様の取組を行うことを促す。



【協定締結の様子】

(左) 株式会社西武不動産
代表取締役社長 齊藤 朝秀
(右) 農林水産大臣 鈴木 憲和



軽井沢プリンスホテルに建設中の国産材を活用した建築物（完成イメージ）
（左：イーストエリア ドッグヴィラ外観 右：イーストエリア センター棟外観）

写真提供：株式会社西武不動産

① 建築物木材利用促進協定制度の詳細

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/index.html

② これまで国が締結した協定の詳細

https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/zisseki.html



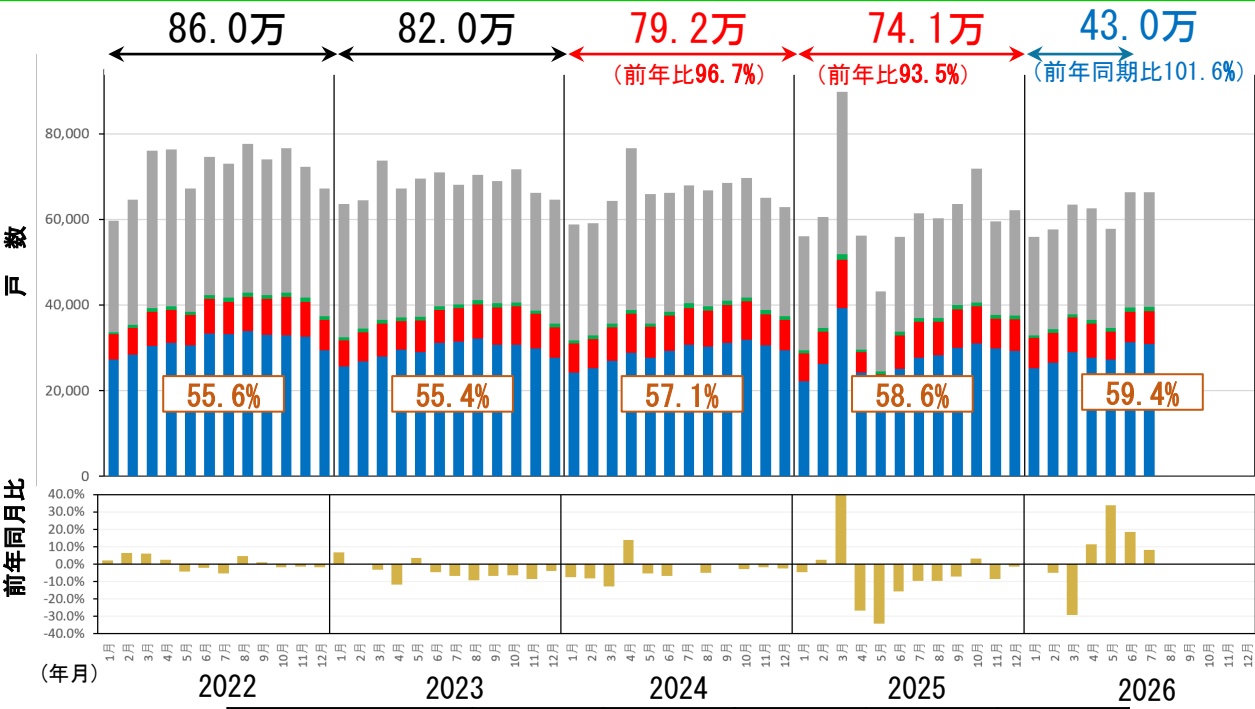
①



②

基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

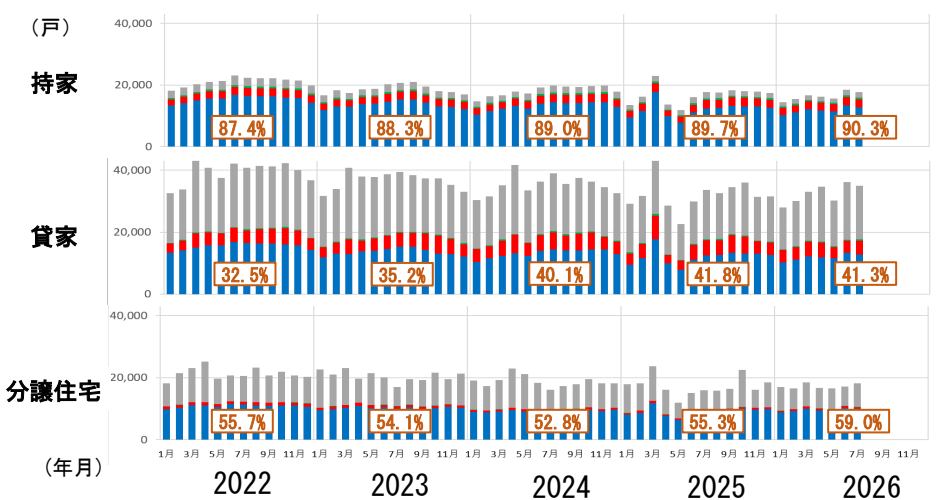
- 2025年の新設住宅着工戸数は、74.1万戸（前年比93.5%）、このうち木造住宅は、43.4万戸（同96.0%）。
- 2026年1～7月の新設住宅着工戸数は、43.0万戸（前年同期比101.6%）、このうち木造住宅は、25.5万戸（同106.0%）。



構造別の 着工戸数	2026年 1～7月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	430,252	423,309	101.6%	459,139	93.7%
■非木造	174,884	182,285	95.9%	205,565	85.1%
木造	255,368	241,024	106.0%	253,574	100.7%
■木造プレハブ	5,825	6,107	95.4%	5,890	98.9%
■2×4	51,536	51,613	99.9%	54,530	94.5%
■在来軸組	198,007	183,304	108.0%	193,154	102.5%
□木造率	59.4%	56.9%		55.2%	

(単位：戸)

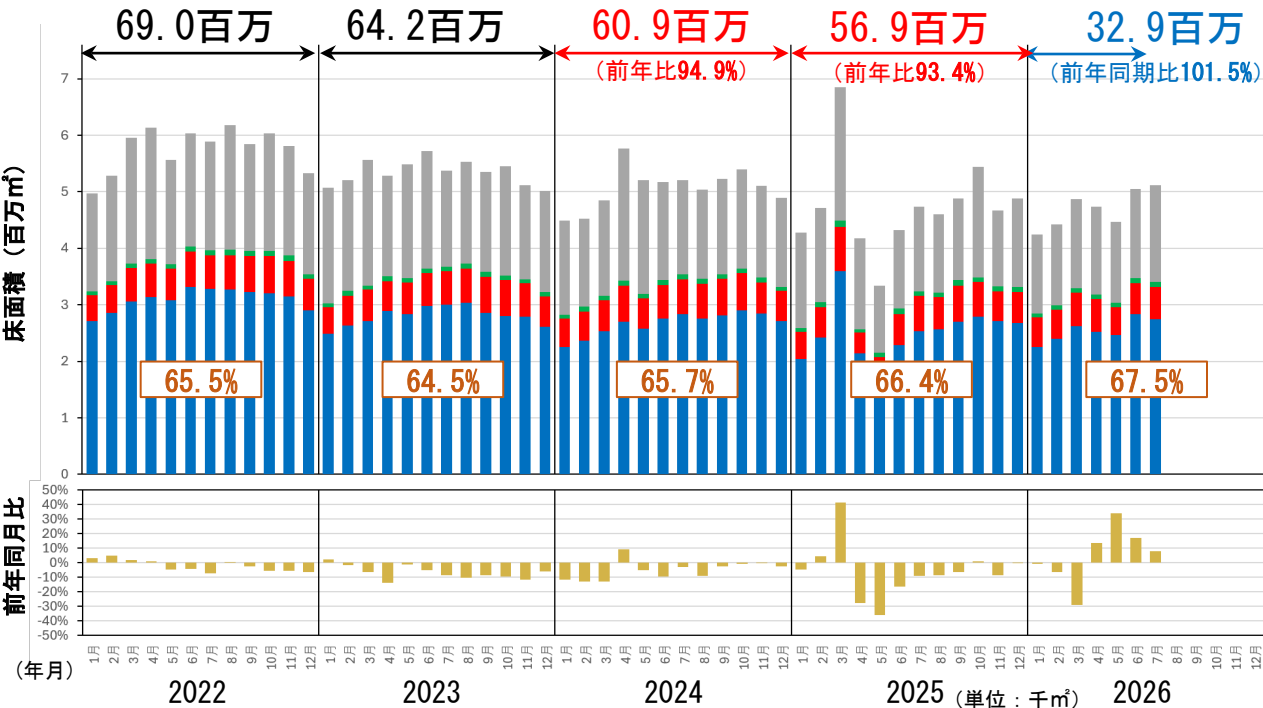
(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」
※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

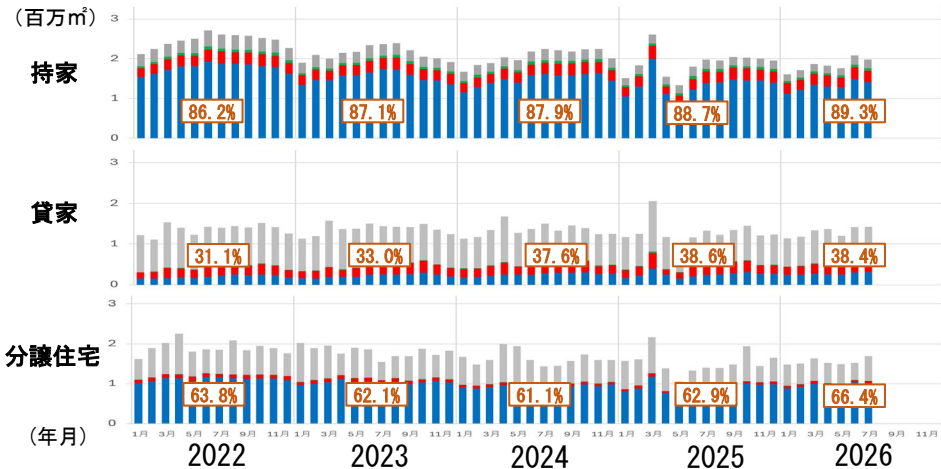
基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

- 2025年の新設住宅着工床面積は、56.9百万㎡（前年比93.4%）、このうち木造住宅は、37.8百万㎡（同94.5%）。
- 2026年1～7月の新設住宅着工床面積は、32.9百万㎡（前年同期比101.5%）、このうち木造住宅は、22.2百万㎡（同105.7%）。



構造別の 着工床面積	2026年 1～7月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	32,900	32,404	101.5%	35,216	93.4%
■ 非木造	10,679	11,388	93.8%	12,692	84.1%
木造	22,220	21,016	105.7%	22,524	98.7%
■ 木造プレハブ	557	579	96.2%	567	98.3%
■ 2×4	3,822	3,749	101.9%	3,951	96.7%
■ 在来軸組	17,842	16,688	106.9%	18,006	99.1%
□ 木造率	67.5%	64.9%		64.0%	

（参考）利用関係別の着工床面積（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」
※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
	11	3,170	90	297	99	2,873	89
	12	3,426	101	254	99	3,172	101
2024年	1	3,269	84	199	92	3,071	83
	2	3,105	87	192	86	2,913	87
	3	3,242	116	212	94	3,030	118
	4	4,045	84	272	89	3,773	84
	5	2,874	88	297	91	2,577	88
	6	3,394	108	293	93	3,100	109
	7	3,294	91	285	103	3,009	90
	8	3,053	87	273	82	2,780	87
	9	3,480	96	286	84	3,194	98
	10	3,361	73	279	96	3,081	71
	11	3,149	99	293	99	2,856	99
	12	2,935	86	255	100	2,680	84
2025年	1	2,487	76	201	101	2,286	74
	2	3,181	102	223	116	2,958	102
	3	3,474	107	338	159	3,136	103
	4	4,085	101	300	110	3,786	100
	5	3,531	123	183	62	3,348	130
	6	2,922	86	236	81	2,687	87
	7	2,612	79	291	102	2,321	77
	8	2,578	84	239	88	2,339	84
	9	3,379	97	268	94	3,111	97
	10	3,093	92	298	107	2,795	91
	11	2,360	75	269	92	2,090	73
	12	2,761	94	232	91	2,529	94
2026年	1	2,566	103	213	106	2,354	103
	2	2,833	89	176	79	2,657	90
	3	3,057	88	243	72	2,815	90
	4	3,017	74	269	90	2,748	73
	5	2,606	74	237	130	2,369	71
	6	3,044	104	309	131	2,735	102
	7	2,929	112	316	109	2,613	113
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2023年計		43,447	92	3,407	97	40,041	92
2024年計		39,201	90	3,136	92	36,064	90
2025年計		36,463	93	3,078	98	33,386	93
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85
	第4四半期	11,218	107	843	99	10,375	108
2024年	第1四半期	9,616	94	603	91	9,014	94
	第2四半期	10,313	92	862	91	9,450	92
	第3四半期	9,827	91	844	89	8,983	92
	第4四半期	9,445	84	827	98	8,617	83
2025年	第1四半期	9,142	95	762	126	8,380	93
	第2四半期	10,538	102	719	83	9,821	104
	第3四半期	8,569	87	798	95	7,771	87
	第4四半期	8,214	87	799	97	7,414	86
2026年	第1四半期	8,456	92	632	83	7,826	93
	第2四半期	8,667	82	815	113	7,852	80

基礎的指標-3 木材産業の業況

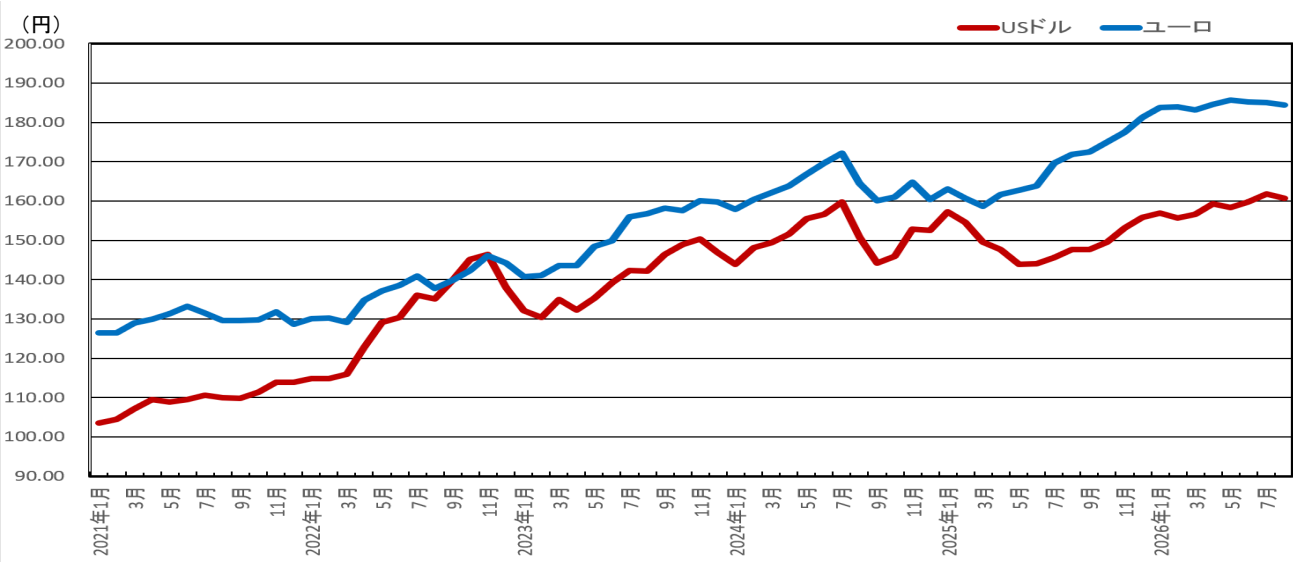
- 2025年の木材産業の倒産件数は36件（前年比144%）、負債金額は11,366百万円（同410%）。
- 2026年1～7月の木材産業の倒産件数は22件（前年同期比96%）、負債金額は6,622百万円（同93%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品製造業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	—	154	—
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	—	571	—
	7	758	153	162,137	192	3	—	339	—
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	0	0	0
	10	793	133	308,010	354	0	0	0	0
	11	807	139	94,871	82	1	100	50	58
	12	810	134	103,228	130	5	500	1,106	334
2024年	1	701	123	79,123	140	1	33	166	72
	2	712	123	139,596	145	1	100	90	58
	3	906	112	142,252	96	2	50	108	8
	4	783	128	113,423	56	4	133	1,161	103
	5	1,009	143	136,769	49	4	200	184	68
	6	820	106	109,879	73	0	0	0	0
	7	953	126	781,206	482	3	100	189	56
	8	723	95	101,370	94	2	100	35	25
	9	807	112	132,754	19	1	—	50	—
	10	909	115	252,913	82	1	—	30	—
	11	841	104	160,223	169	4	400	576	1,152
	12	842	104	194,030	188	2	40	185	17
2025年	1	840	120	121,449	153	1	100	20	12
	2	764	107	171,277	123	3	300	2,382	2,647
	3	853	94	98,586	69	5	250	961	890
	4	828	106	102,802	91	5	125	2,461	212
	5	857	85	90,389	66	4	100	188	102
	6	848	103	105,703	96	1	—	638	—
	7	961	101	167,035	21	4	133	445	235
	8	805	111	114,373	113	0	—	0	—
	9	873	108	112,470	85	2	200	730	1,460
	10	965	106	127,521	50	5	500	1,785	5,950
	11	778	93	82,403	51	2	50	430	75
	12	928	110	298,182	154	4	200	1,326	717
2026年	1	887	106	119,815	99	2	200	550	2,750
	2	851	111	133,160	78	7	233	1,192	50
	3	924	108	114,862	117	3	60	477	50
	4	883	107	111,896	109	3	60	305	12
	5	780	91	121,199	134	4	100	465	247
	6	1,021	120	133,150	126	1	100	33	5
	7	1,028	107	236,312	141	2	50	3,600	809
2023年計		8,690	135	2,402,645	103	27	208	5,322	70
2024年計		10,006	115	2,343,538	98	25	93	2,774	52
2025年計		10,300	103	1,592,190	68	36	144	11,366	410
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25
	第4四半期	2,410	135	506,109	180	6	200	1,156	187
2024年	第1四半期	2,319	119	360,971	120	4	50	364	21
	第2四半期	2,612	125	360,071	57	8	100	1,345	69
	第3四半期	2,483	111	1,015,330	105	6	120	274	57
	第4四半期	2,592	108	607,166	120	7	117	791	68
2025年	第1四半期	2,457	106	391,312	108	9	225	3,363	924
	第2四半期	2,533	97	298,894	83	10	125	3,287	244
	第3四半期	2,639	106	393,878	39	6	100	1,175	429
	第4四半期	2,671	103	508,106	84	11	157	3,541	448
2026年	第1四半期	2,662	108	367,837	94	12	133	2,219	66
	第2四半期	2,684	106	366,245	123	8	80	803	24

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

基礎的指標-4 USドル及びユーロ為替相場

- 2026年8月の為替相場※は、1ドル160.64円、1ユーロ184.41円。
※ 税関長公示レート of 平均値



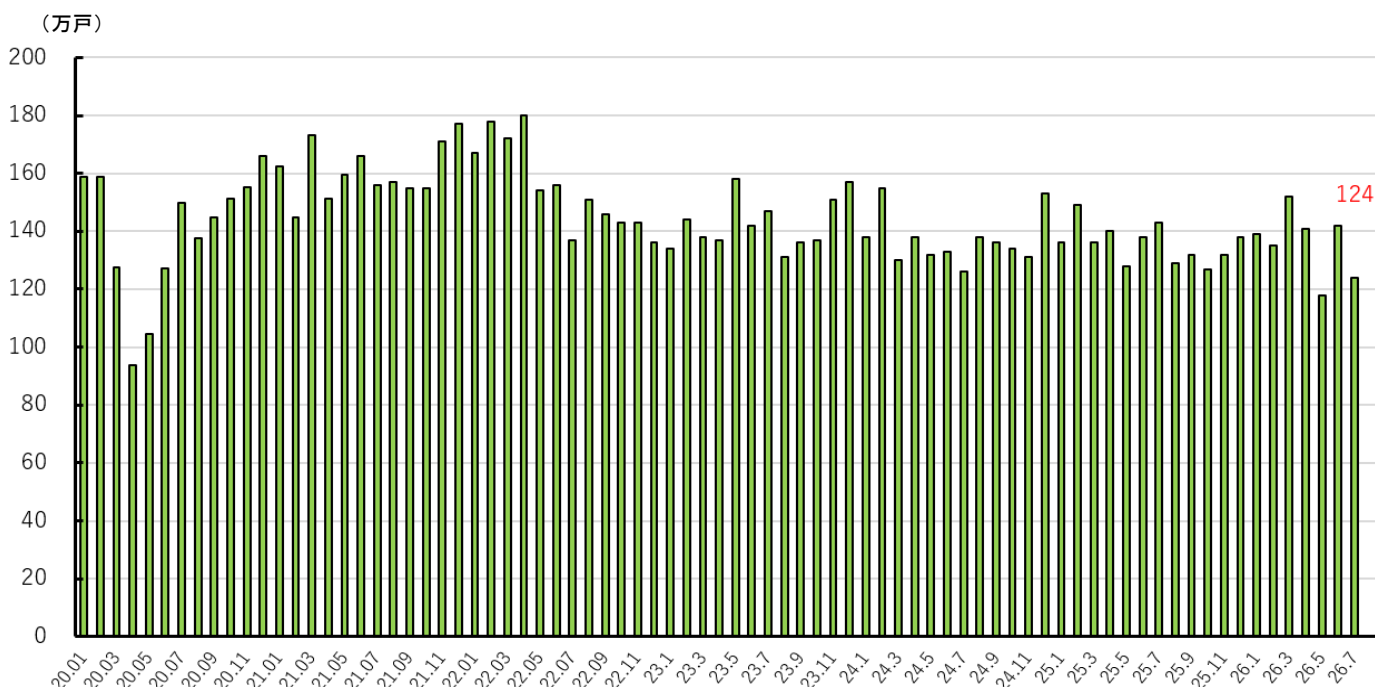
(単位: 円)		
年 月	USDドル	ユーロ
2021年1月	103.57	126.44
2月	104.50	126.41
3月	107.13	128.93
4月	109.56	129.89
5月	108.80	131.36
6月	109.50	133.28
7月	110.55	131.43
8月	109.89	129.63
9月	109.87	129.60
10月	111.42	129.77
11月	113.95	131.84
12月	113.95	128.72
2022年1月	114.82	130.09
2月	114.84	130.17
3月	115.86	129.13
4月	122.84	134.73
5月	129.17	137.21
6月	130.35	138.58
7月	136.05	140.87
8月	135.08	137.78
9月	139.81	139.88
10月	145.09	142.34
11月	146.43	146.15
12月	137.90	144.14
2023年1月	132.08	140.75
2月	130.38	141.08
3月	134.97	143.57
4月	132.23	143.64
5月	135.31	148.42
6月	139.24	149.89
7月	142.32	156.04
8月	142.23	156.75
9月	146.44	158.12
10月	148.88	157.55
11月	150.34	160.04
12月	146.92	159.80

(単位: 円)		
年 月	USDドル	ユーロ
2024年1月	143.95	157.82
2月	148.18	160.35
3月	149.45	162.17
4月	151.66	163.86
5月	155.48	166.79
6月	156.64	169.63
7月	159.77	172.17
8月	150.89	164.44
9月	144.27	160.04
10月	145.87	161.08
11月	152.83	164.76
12月	152.48	160.39
2025年1月	157.20	163.11
2月	154.61	160.70
3月	149.55	158.74
4月	147.70	161.65
5月	143.97	162.83
6月	144.04	163.84
7月	145.56	169.73
8月	147.73	171.93
9月	147.61	172.57
10月	149.51	175.00
11月	153.17	177.48
12月	155.86	181.22
2026年1月	156.91	183.88
2月	155.65	184.00
3月	156.60	183.15
4月	159.27	184.60
5月	158.29	185.68
6月	159.69	185.23
7月	161.83	185.02
8月	160.64	184.41

資料：関税定率法第4条の7に規定する財務省令で定める外国為替相場（関税定率法施行規則（昭和44年大蔵省令第16号）第1条の規定により税関長が公示する相場）
注：税関長公示レートの平均を算出して掲載（モクレボNo. 55（令和8年4月）より掲載内容を変更）

- 米国の住宅着工戸数（年率換算、戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、2022年5月からは概ね130～160万戸（年率換算）で推移。2026年7月は前月比88%の124万戸（年率換算）。
- 日本向けコンテナ運賃は、2021年～2022年頃にはコロナ禍の影響で米国発、欧州発ともに高騰。2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーン混乱の影響で欧州発が一時高騰。2026年2月末以降の中東情勢等の影響で米国発、欧州発ともに上昇傾向。

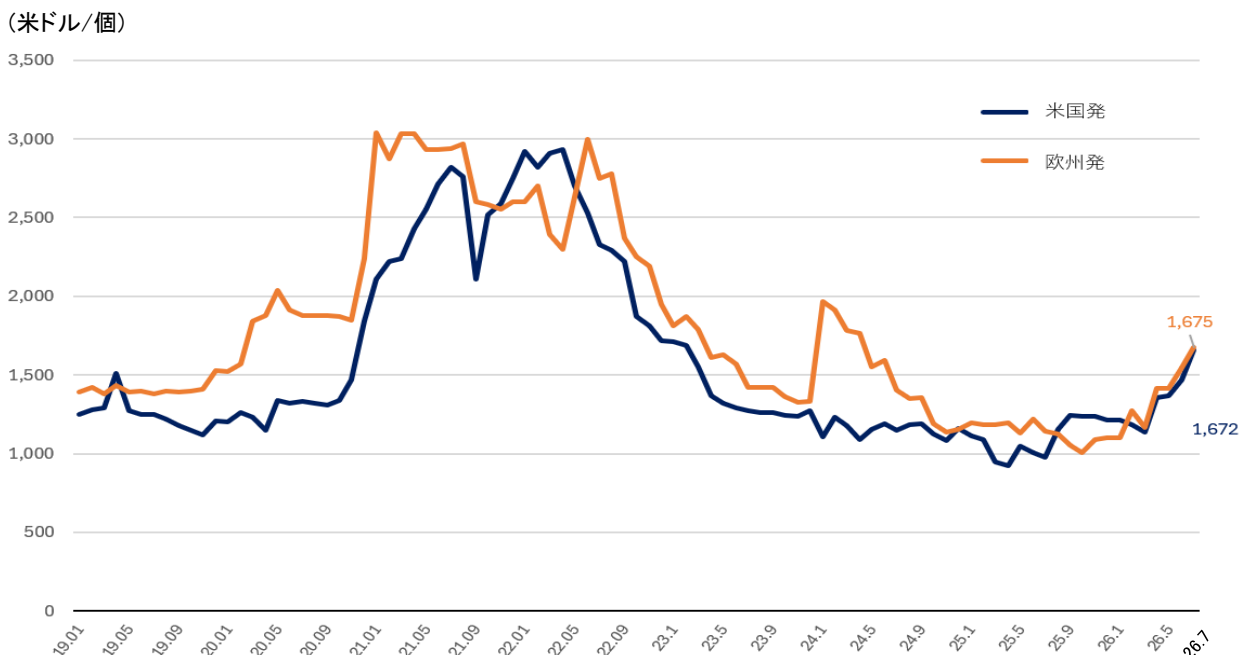
○米国における住宅着工戸数の推移



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

(年.月)

○日本向けコンテナ運賃の推移



注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

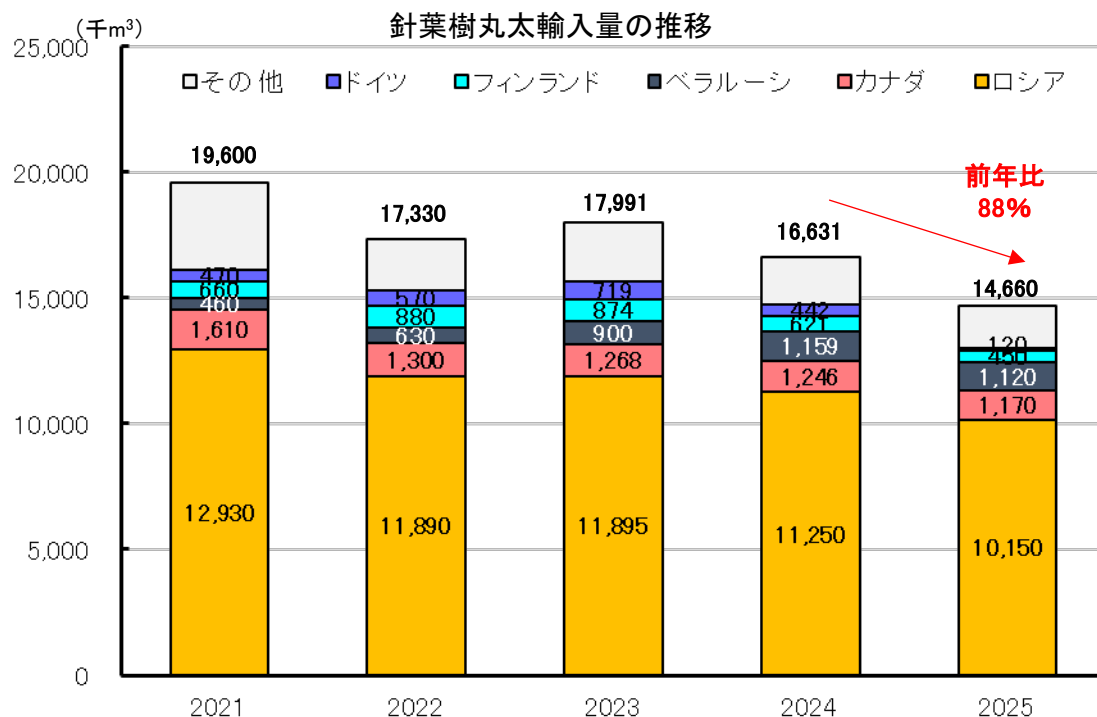
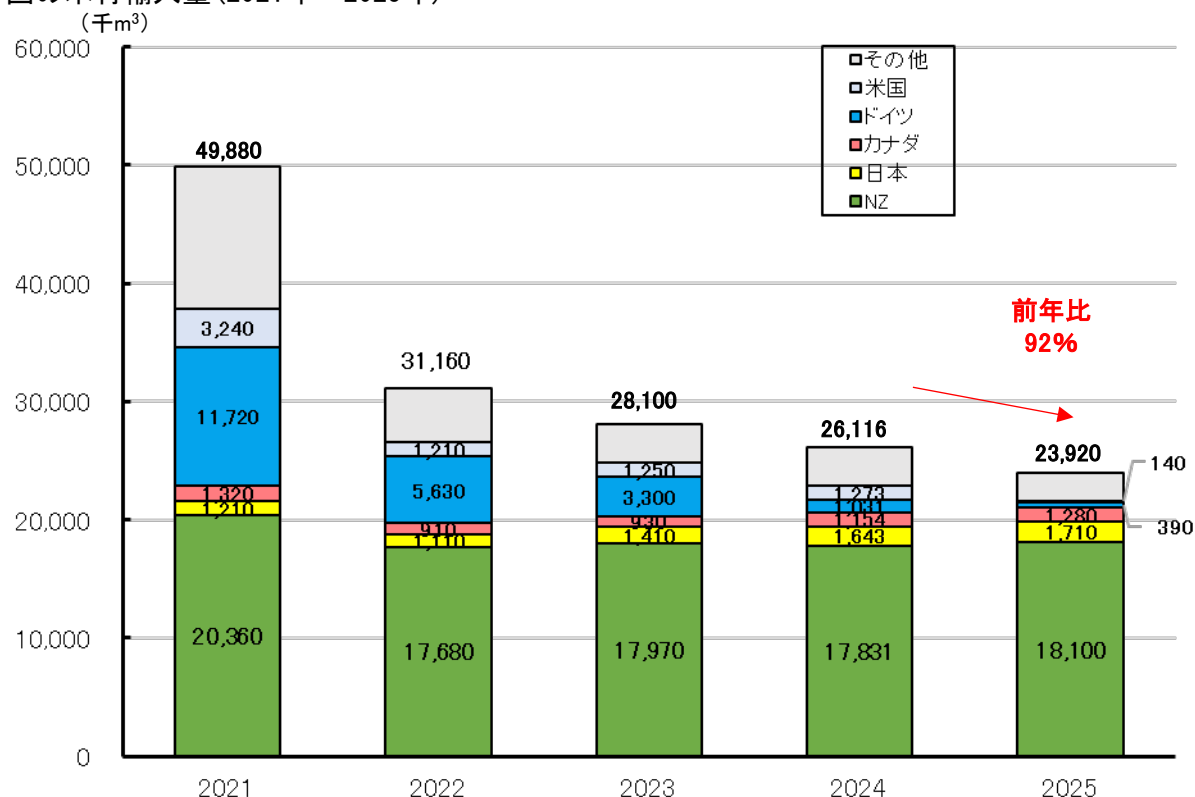
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量の動向

- 2025年の中国による針葉樹丸太輸入量は、前年比92%の2,392万m³。
- 同年の中国による針葉樹製材輸入量は、前年比88%の1,466万m³。

○中国の木材輸入量(2021年～2025年)

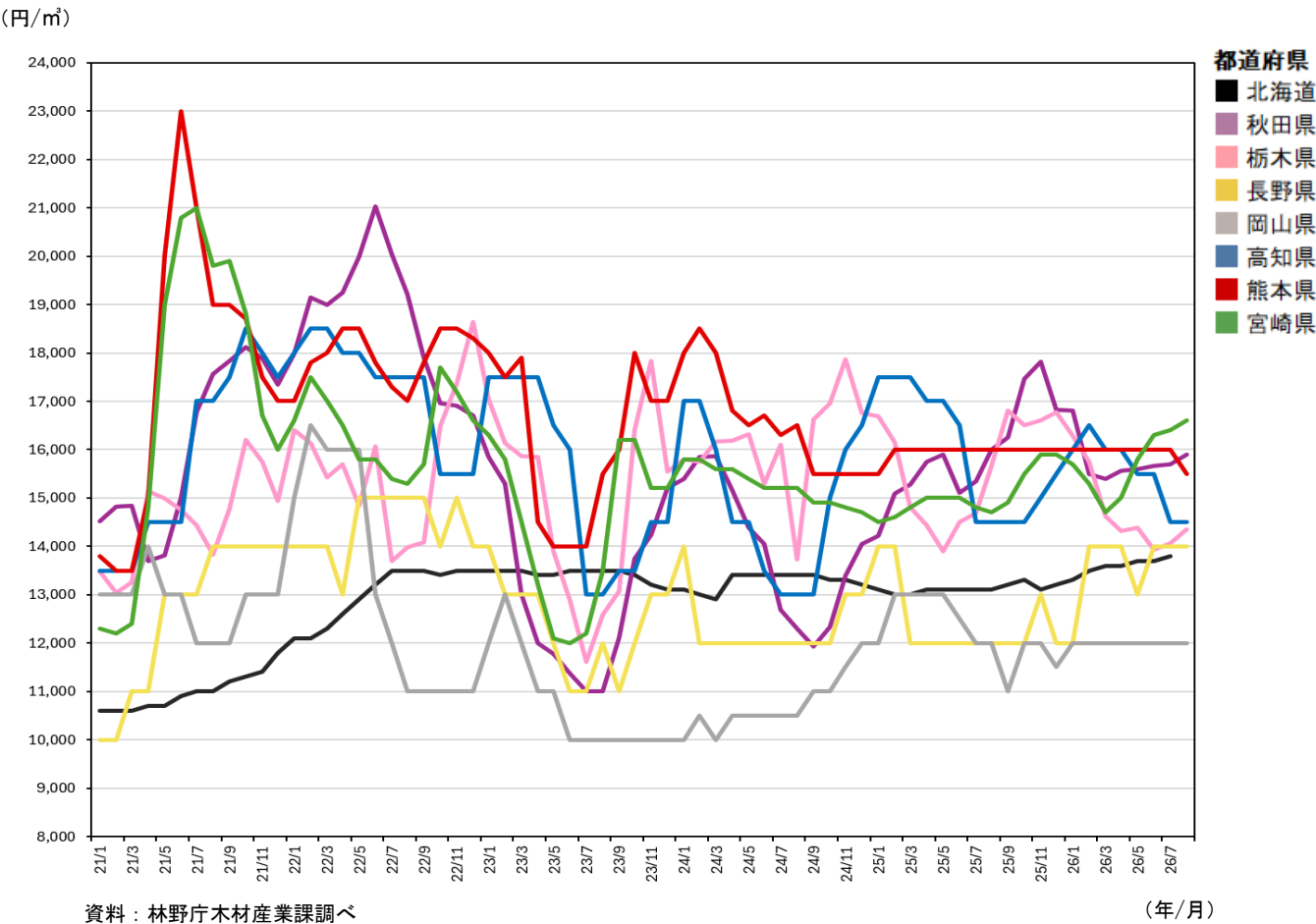


針葉樹製材輸入量の推移

資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Volume 30, Number 2, Number 3 を基に作成)

木材価格情報- 1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,600円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2021年1月～）。
注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

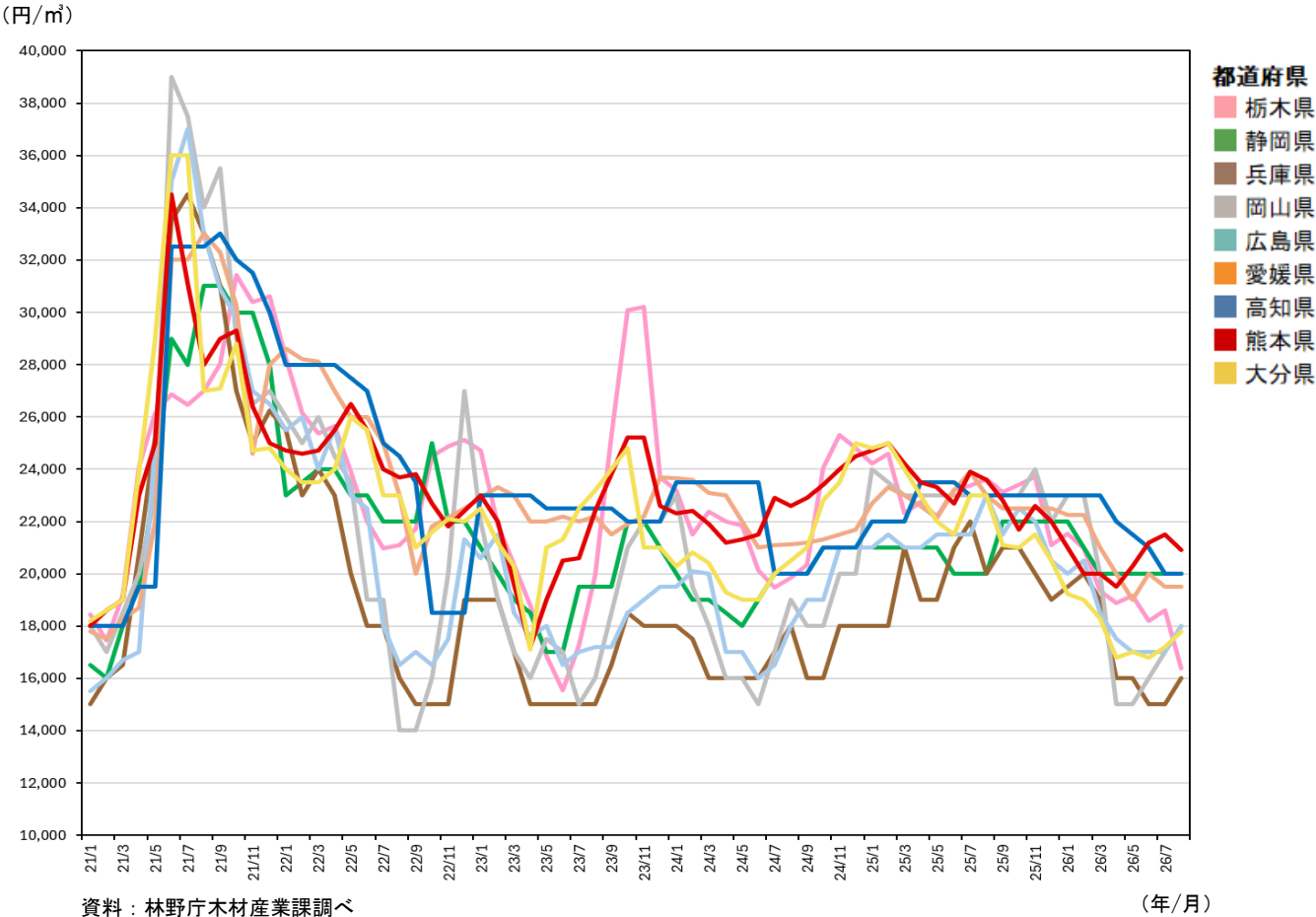
(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,800	13,100	105%
秋田県	15,900	16,000	99%
栃木県	14,350	15,660	92%
長野県	14,000	12,000	117%
岡山県	12,000	12,000	100%
高知県	14,500	14,500	100%
熊本県	15,500	16,000	97%
宮崎県	16,600	14,700	113%

※北海道については7月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については8月の値を使用。

木材価格情報- 1 ヒノキ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、16,000円～20,900円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ
注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2021年1月～）
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	16,400	23,610	69%
静岡県	20,000	20,000	100%
兵庫県	16,000	20,000	80%
岡山県	18,000	23,000	78%
広島県	18,000	23,000	78%
愛媛県	19,500	23,000	85%
高知県	20,000	23,000	87%
熊本県	20,900	23,600	89%
大分県	17,800	23,000	77%

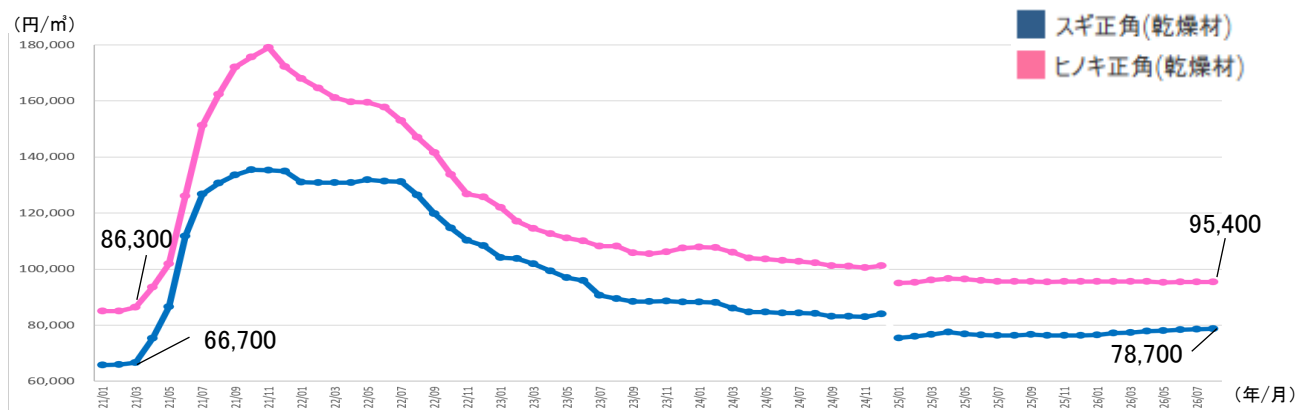
※各県8月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

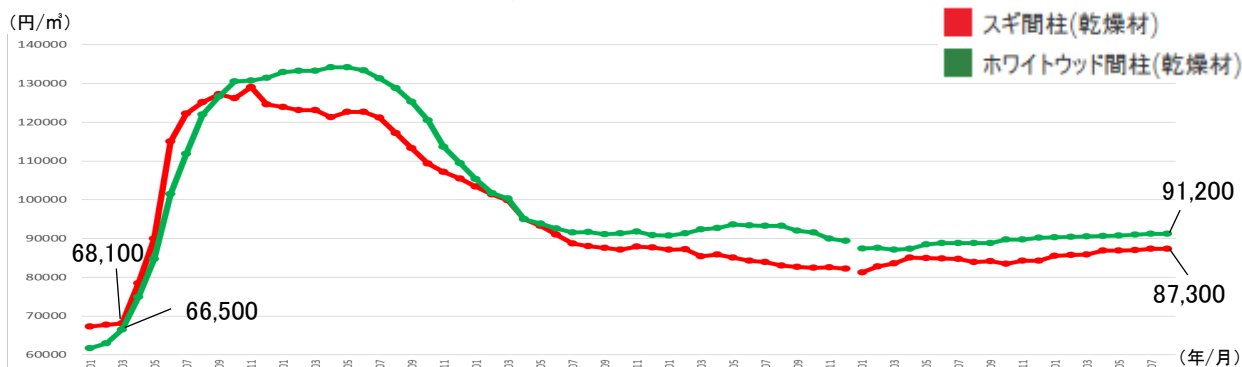
- 2026年8月の正角（乾燥材）の価格について、スギは78,700円/m³、ヒノキは95,400円/m³。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは87,300円/m³、ホワイトウッドは91,200円/m³。
- 2026年6月の針葉樹合板の価格は、1,760円/枚。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格） 注:4

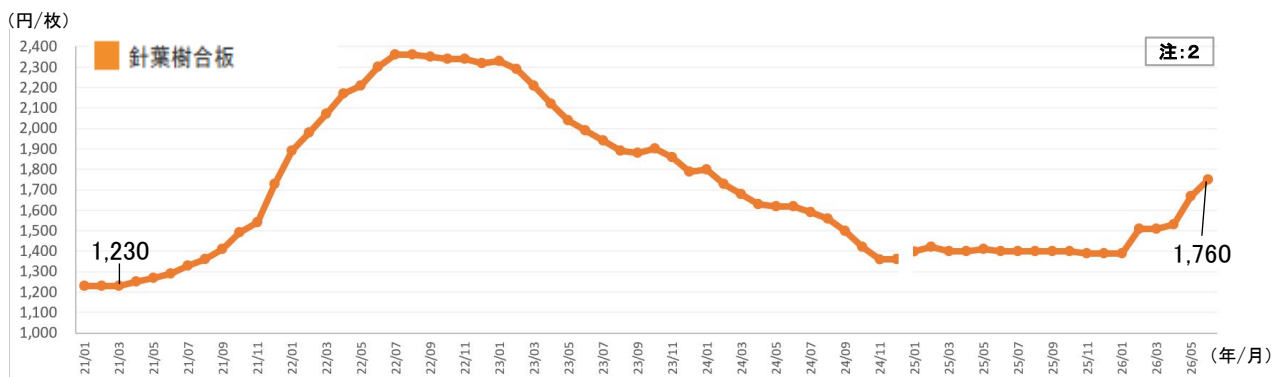
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。
- 2 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
- 3 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 4 2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
2026年9月7日に2026年1～7月の速報値、2025年の確定値が修正された。
- 5 スギ間柱（乾燥材）の令和8年1月及び2月の価格は、調査対象事務所の変更に伴う影響があるため利用にあたっては留意されたい。

(1) 全国平均価格

年次	月	丸 太								製 材 品															
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		スギ		ホワイトウッド					
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		間柱(乾燥材)		間柱(乾燥材)					
		14-22cm 3.65-4m (円/㎡)	対前年 比(%)	14-22cm 3.65-4m (円/㎡)	対前年 比(%)	14-28cm 3.65-4m (円/㎡)	対前年 比(%)	18cm上 対前年 比(%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前年 比(%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前年 比(%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前年 比(%)	10.5cm角、 3.0m (円/㎡)	対前年 比(%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/㎡)	対前年 比(%)	3.0×10.5cm、 3.0m (円/㎡)	対前年 比(%)					
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	59,700	88	104,100	79	81,800	86	122,000	73	103,400	83	105,300	79				
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	59,200	90	103,800	79	80,700	86	117,100	71	101,300	82	101,700	76				
	3	16,700	94	22,700	82	16,300	110	15,200	97	58,600	89	101,800	78	77,700	83	114,500	71	99,900	81	100,300	75				
	4	15,800	90	21,900	81	16,200	108	15,100	94	55,500	84	99,300	76	76,600	82	112,600	71	95,000	78	95,000	71				
	5	15,100	84	20,700	78	16,200	101	14,900	93	54,300	82	97,000	74	76,500	82	111,000	70	93,300	76	93,800	70				
	6	14,700	83	20,600	80	16,200	94	14,800	92	50,100	76	95,900	73	75,400	82	110,100	70	91,000	74	92,600	69				
	7	14,500	83	20,500	81	16,100	95	14,500	90	50,100	76	90,600	69	73,800	81	108,200	71	88,700	73	91,600	70				
	8	14,400	83	20,800	87	15,400	91	14,400	91	50,000	77	89,500	71	73,100	82	108,100	74	88,000	75	91,700	71				
	9	15,200	87	21,400	98	16,000	95	14,200	90	48,300	76	88,500	74	72,600	82	105,800	75	87,500	77	91,100	73				
	10	15,900	88	22,600	105	15,800	93	14,200	91	50,000	81	88,400	77	72,800	84	105,400	79	87,100	80	91,300	76				
	11	16,200	91	23,500	106	15,800	95	14,100	92	50,100	81	88,600	80	73,100	85	106,200	84	87,900	82	91,800	81				
	12	15,900	91	23,600	107	15,800	95	14,100	92	50,100	83	88,200	81	75,400	89	107,500	85	87,700	83	90,900	83				
2024年	1	16,300	94	23,400	102	15,800	96	14,100	93	54,300	91	88,200	85	77,400	95	107,900	88	87,100	84	90,800	86				
	2	16,300	94	23,700	103	15,600	96	14,100	93	54,800	93	88,100	85	77,400	96	107,700	92	87,200	86	91,300	90				
	3	16,400	98	23,300	103	15,300	94	13,900	91	54,800	94	86,100	85	77,400	100	105,900	92	85,400	85	92,300	92				
	4	16,100	102	22,800	104	15,300	94	13,900	92	54,800	99	84,700	85	76,000	99	104,000	92	85,800	90	92,700	98				
	5	16,000	106	22,300	108	15,200	94	13,900	93	54,800	101	84,600	87	76,000	99	103,600	93	85,100	91	93,600	100				
	6	15,700	107	21,500	104	15,200	94	13,800	93	50,600	101	84,300	88	75,900	101	103,000	94	84,200	93	93,400	101				
	7	15,600	108	21,200	103	15,200	94	13,900	96	49,500	99	84,400	93	73,900	100	102,700	95	83,900	95	93,200	102				
	8	15,600	108	21,300	102	14,900	97	13,800	96	49,500	99	84,200	94	73,500	101	102,300	95	83,000	94	93,200	102				
	9	15,500	102	21,600	101	15,100	94	13,700	96	49,500	102	83,100	94	73,400	101	101,200	96	82,600	94	92,000	101				
	10	15,500	97	21,700	96	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,100	94	72,100	99	101,100	96	82,400	95	91,600	100				
	11	15,500	96	21,900	93	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,000	94	72,100	99	100,600	95	82,500	94	89,900	98				
	12	15,800	99	22,400	95	15,100	96	13,500	96	49,500	99	84,000	95	72,100	96	101,200	94	82,200	94	89,400	98				
2025年	1	15,900	100	25,400	105	15,300	105	13,300	105	53,600	105	75,400	105	81,600	105	95,100	105	81,300	105	87,400	105				
	2	16,000	100	25,800	105	15,400	105	13,400	105	54,000	105	76,000	105	81,400	105	95,200	105	82,800	105	87,500	105				
	3	16,000	100	26,400	105	15,500	105	13,500	105	52,700	105	76,600	105	81,200	105	96,100	105	83,600	105	87,100	105				
	4	16,000	100	26,100	105	15,400	105	13,500	105	55,200	105	77,600	105	83,200	105	96,600	105	85,100	105	87,300	105				
	5	15,700	100	25,900	105	15,400	105	13,600	105	55,100	105	76,900	105	82,700	105	96,400	105	84,900	105	88,500	105				
	6	15,700	100	25,600	105	15,400	105	13,500	105	55,000	105	76,500	105	82,200	105	95,900	105	84,800	105	88,800	105				
	7	15,700	100	25,500	105	15,400	105	13,600	105	53,800	105	76,300	105	82,200	105	95,600	105	84,700	105	88,800	105				
	8	15,700	100	26,000	105	15,400	105	13,600	105	53,500	105	76,300	105	82,200	105	95,600	105	83,900	105	88,800	105				
	9	16,000	100	25,900	105	15,400	105	13,600	105	52,600	105	76,700	105	82,000	105	95,500	105	84,100	105	88,800	105				
	10	15,900	100	25,500	105	15,500	105	13,600	105	52,200	105	76,400	105	82,000	105	95,400	105	83,400	105	89,700	105				
	11	15,800	100	25,700	105	15,500	105	13,600	105	52,300	105	76,400	105	82,100	105	95,500	105	84,200	105	89,700	105				
	12	15,900	100	25,300	105	15,500	105	13,700	105	52,300	105	76,400	105	82,200	105	95,500	105	84,300	105	90,200	105				
2026年	1	15,900	100	24,700	97	15,600	102	13,700	103	52,300	98	76,500	101	82,100	101	95,500	100	85,500	105	90,300	103				
	2	15,900	99	24,700	96	15,600	101	13,700	102	51,900	96	77,100	101	81,600	100	95,600	100	85,700	104	90,400	103				
	3	15,900	99	24,000	91	15,600	101	13,800	102	51,900	98	77,400	101	81,600	100	95,600	99	85,900	103	90,500	104				
	4	15,900	99	22,800	87	15,800	103	13,800	102	53,000	96	77,900	100	81,700	98	95,600	99	86,900	102	90,600	104				
	5	15,900	101	21,900	85	15,900	103	13,800	101	53,500	97	78,000	101	81,700	99	95,300	99	86,900	102	90,700	102				
	6	16,000	102	21,900	86	15,800	103	13,800	102	53,000	96	78,400	102	81,700	99	95,400	99	87,000	103	91,000	102				
	7	16,100	103	21,800	85	15,900	103	13,800	101	53,000	96	78,600	103	81,700	99	95,400	99	87,000	103	91,000	102				
	8	16,200	103	22,300	86	15,900	103	13,800	101	53,000	96	78,700	103	81,700	99	95,400	99	87,000	103	91,000	102				
2023年		15,800	90	22,000	88	16,000	99	14,700	94	53,000	82	94,600	76	75,800	84	110,700	74	92,600	79	94,800	74				
2024年		15,900	101	22,300	101	15,300	96	13,800	94	51,800	98	84,800	90	74,800	99	103,400	93	84,300	91	92,000	97				
2025年		15,900	101	25,800	105	15,400	105	13,500	105	53,500	105	76,500	105	82,100	105	95,700	105	83,900	105	88,600	105				
2023年	第1四半期	17,100	98	22,900	81	16,300	112	15,200	101	59,200	89	103,200	79	80,100	85	117,900	72	101,500	82	102,400	77				
	第2四半期	15,200	86	21,100	80	16,200	101	14,900	93	53,300	81	97,400	74	76,200	82	111,200	70	93,100	76	93,800	70				
	第3四半期	14,700	84	20,900	88	15,800	93	14,400	91	49,500	77	89,500	71	73,200	82	107,400	73	88,100	75	91,500	71				
	第4四半期	16,000	90	23,200	106	15,800	94	14,100	91	50,100	82	88,400	80	73,800	86	106,400	83	87,600	82	91,300	80				
2024年	第1四半期	16,300	95	23,500	103	15,600	96	14,000	92	54,600	92	87,500	85	77,400	97	107,200	91	86,600	85	91,500	89				
	第2四半期	15,900	105	22,200	105	15,200	94	13,900	93	53,400	100	84,500	87	76,000	100	103,500	93	85,000	91	93,200	99				
	第3四半期	15,600	106	21,400																					

年次	月	構 造 用 集 成 材						合 板		チップ							
		スギ集成管柱			ホワイトウッド集成管柱			針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		国産、無化粧			国産、無化粧			針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		10.5角×2.98～3m JAS			10.5角×2.98～3m JAS			1.2×91.0cm、 1.82m (円/枚)		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		(円/㎡) (参考値:注5)	(円/本)	対前 年比 (%)	(円/㎡) (参考値:注5)	(円/本)	対前 年比 (%)		対前 年比 (%)	(円/㎡)	対前 年比 (%)	(円/㎡)	対前 年比 (%)	(円/ト)	対前 年比 (%)	(円/ト)	対前 年比 (%)
2023年	1	93.726	3,100	84	99.773	3,300	63	2,330	123	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105
	2	90.703	3,000	79	93.726	3,100	60	2,290	116	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	3	84.656	2,800	76	87.680	2,900	57	2,210	107	7,200	106	9,900	103	15,900	105	20,400	105
	4	81.633	2,700	71	78.609	2,600	51	2,120	98	7,500	109	9,800	101	16,700	110	20,900	107
	5	81.633	2,700	71	78.609	2,600	51	2,040	92	7,400	106	9,900	102	16,900	110	21,100	107
	6	81.633	2,700	71	78.609	2,600	51	1,990	87	7,400	106	9,900	101	16,900	110	21,100	107
	7	81.633	2,700	73	78.609	2,600	55	1,940	82	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	107
	8	81.633	2,700	73	78.609	2,600	57	1,890	80	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	9	81.633	2,700	73	78.609	2,600	59	1,880	80	7,500	104	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	10	81.633	2,700	77	78.609	2,600	63	1,900	81	7,600	107	10,000	102	17,100	110	21,100	106
	11	81.633	2,700	79	81.633	2,700	68	1,860	79	7,500	104	10,000	101	17,100	109	21,200	105
	12	81.633	2,700	82	81.633	2,700	77	1,790	77	7,600	107	10,000	101	17,200	109	21,200	104
2024年	1	81.633	2,700	87	81.633	2,700	82	1,800	77	7,700	107	10,100	102	17,200	108	21,200	104
	2	81.633	2,700	90	81.633	2,700	87	1,730	76	7,700	105	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	3	81.633	2,700	96	81.633	2,700	93	1,680	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	4	84.656	2,800	104	81.633	2,700	104	1,630	77	7,700	103	10,100	103	17,400	104	21,700	104
	5	84.656	2,800	104	81.633	2,700	104	1,620	79	7,600	103	10,100	102	17,700	105	21,900	104
	6	84.656	2,800	104	84.656	2,800	108	1,620	81	7,800	105	10,200	103	17,800	105	22,000	104
	7	84.656	2,800	104	84.656	2,800	108	1,590	82	7,800	104	10,200	102	17,800	105	22,000	104
	8	84.656	2,800	104	84.656	2,800	108	1,560	83	7,700	103	10,100	101	17,900	105	22,100	105
	9	84.656	2,800	104	84.656	2,800	108	1,500	80	7,900	105	10,100	101	17,900	105	22,200	105
	10	81.633	2,700	100	84.656	2,800	108	1,420	75	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,200	105
	11	81.633	2,700	100	81.633	2,700	100	1,360	73	7,800	104	10,200	102	18,200	106	22,300	105
	12	81.633	2,700	100	81.633	2,700	100	1,360	76	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,300	105
2025年	1	69.539	2,300	注1)	81.633	2,700	注1)	1,410	注1)	7,800	注1)	10,500	注1)	17,900	注1)	21,900	注1)
	2	69.539	2,300	—	81.633	2,700	—	1,430	—	7,800	—	10,500	—	18,000	—	22,200	—
	3	69.539	2,300	—	84.656	2,800	—	1,410	—	7,800	—	10,500	—	18,000	—	22,200	—
	4	69.539	2,300	—	84.656	2,800	—	1,410	—	7,800	—	10,600	—	18,100	—	22,600	—
	5	69.539	2,300	—	84.656	2,800	—	1,430	—	7,800	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	6	69.539	2,300	—	84.656	2,800	—	1,420	—	7,800	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	7	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	8	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	9	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	10	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	11	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,400	—	23,200	—
	12	69.539	2,300	—	90.703	3,000	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
2026年	1	69.539	2,300	100	90.703	3,000	111	1,400	99	7,900	101	10,700	102	18,400	103	23,200	106
	2	69.539	2,300	100	90.703	3,000	111	1,520	106	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105
	3	69.539	2,300	100	90.703	3,000	107	1,520	108	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105
	4	69.539	2,300	100	93.726	3,100	111	1,550	110	7,900	101	10,800	102	18,400	102	23,300	103
	5	72.562	2,400	104	93.726	3,100	111	1,690	118	7,900	101	10,900	103	18,600	102	23,500	101
	6	72.562	2,400	104	96.750	3,200	114	1,760	124	8,000	103	10,900	103	18,700	102	23,500	101
	7	75.586	2,500	109	99.773	3,300	114	注3)	注3)	8,000	101	10,800	102	18,700	102	23,600	102
	8	75.586	2,500	109	99.773	3,300	114	注3)	注3)	8,000	101	10,800	102	18,600	102	23,600	102
2023年		84.656	2,800	76	81.633	2,700	57	2,020	91	7,400	106	9,900	102	16,700	109	20,900	106
2024年		84.656	2,800	100	81.633	2,700	100	1,570	78	7,800	105	10,100	102	17,700	106	21,900	105
2025年		69.539	2,300	注1)	84.656	2,800	注1)	1,410	注1)	7,900	注1)	10,600	注1)	18,200	注1)	22,900	注1)
2023年	第1四半期	90.703	3,000	81	93.726	3,100	60	2,280	115	7,200	107	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	第2四半期	81.633	2,700	71	78.609	2,600	51	2,050	92	7,400	106	9,900	102	16,800	110	21,000	107
	第3四半期	81.633	2,700	73	78.609	2,600	51	1,900	81	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	第4四半期	81.633	2,700	79	81.633	2,700	69	1,850	79	7,600	107	10,000	101	17,100	109	21,200	105
2024年	第1四半期	81.633	2,700	90	81.633	2,700	87	1,740	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	第2四半期	84.656	2,800	104	81.633	2,700	104	1,620	79	7,700	104	10,100	102	17,600	105	21,900	104
	第3四半期	84.656	2,800	104	84.656	2,800	108	1,550	82	7,800	104	10,100	101	17,900	105	22,100	105
	第4四半期	81.633	2,700	100	81.633	2,700	100	1,380	75	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,300	105
2025年	第1四半期	69.539	2,300	注1)	81.633	2,700	注1)	1,420	注1)	7,800	注1)	10,500	注1)	18,000	注1)	22,100	注1)
	第2四半期	69.539	2,300	—	84.656	2,800	—	1,420	—	7,800	—	10,600	—	18,200	—	23,000	—
	第3四半期	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
	第4四半期	69.539	2,300	—	87.680	2,900	—	1,410	—	7,900	—	10,600	—	18,300	—	23,200	—
2026年	第1四半期	69.539	2,300	100	90.703	3,000	111	1,480	104	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105
	第2四半期	72.562	2,400	104	93.726	3,100	111	1,670	118	7,900	101	10,900	103	18,600	102	23,400	102

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。このため、2025年の対前年比(%)は算出できないため、「—」としている。

2 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。

3 2022年1月より、四半期ごとの公表となった(4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表)。

4 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。

5 構造用集成材の㎡当たりの価格は、1本を0.033075m³に換算して算出した。

6 2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
(2026年9月7日修正(黄色セル参照))

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,000	12,300	12,300	12,200	12,200	13,100	12,800	12,800	12,700	12,800	13,300	13,200
岩手	14,400	14,100	14,100	14,100	14,100	14,100	14,200	14,200	14,000	14,000	14,000	14,400
宮城	13,200	13,200	13,200	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
秋田	13,700	14,000	14,400	14,500	14,600	14,600	14,600	14,800	14,900	15,000	15,100	15,200
山形	11,800	11,900	12,000	12,400	12,300	12,300	12,100	12,200	12,200	11,700	11,800	12,300
福島	12,700	12,500	11,900	11,900	11,900	11,800	11,800	11,800	11,800	12,100	12,200	12,200
茨城	15,300	14,100	14,300	14,300	14,300	14,200	14,200	14,300	14,800	14,900	15,400	15,400
栃木	17,400	18,000	18,200	17,400	17,200	16,600	16,900	16,900	17,300	17,100	17,100	17,000
岐阜	18,100	18,100	18,100	18,600	18,600	18,600	18,400	18,400	18,400	18,500	18,500	18,500
三重	20,900	21,300	21,700	22,100	22,100	22,100	20,600	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
岡山	16,100	16,000	14,900	14,900	14,400	14,400	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100
徳島	18,700	19,000	19,200	19,200	19,200	19,200	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
愛媛	16,000	16,200	17,000	17,100	17,400	17,000	17,100	17,100	17,100	17,100	16,900	17,000
高知	16,200	16,300	16,300	16,300	16,100	16,100	15,400	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300
熊本	17,200	17,500	17,400	17,700	17,200	16,700	16,900	17,100	20,400	19,500	18,200	18,100
大分	16,000	16,000	15,800	15,900	15,700	16,100	16,100	15,800	15,700	15,200	15,300	15,900
宮崎	17,600	17,600	17,600	17,500	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	16,900	16,900
鹿児島	17,300	17,200	17,100	17,100	16,900	16,700	16,600	16,300	16,400	16,500	16,600	16,600

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
青森	13,600	13,600	13,500	13,300	13,300	13,500	13,600	13,400
岩手	14,600	14,800	14,700	15,000	14,500	14,500	14,800	14,800
宮城	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
秋田	15,200	15,100	15,000	14,800	14,700	14,700	14,700	14,700
山形	12,200	12,300	12,500	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
福島	12,300	12,400	12,200	12,100	12,300	12,400	12,500	12,900
茨城	15,400	15,300	15,300	15,200	15,200	15,200	15,300	15,400
栃木	17,000	17,100	17,000	16,700	17,000	16,500	16,600	16,900
岐阜	18,400	18,400	18,400	18,400	18,200	18,200	18,100	18,100
三重	21,000	20,600	20,600	20,200	16,600	16,600	18,100	17,900
岡山	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	16,200
徳島	19,300	19,200	19,200	19,200	19,200	19,100	19,100	19,100
愛媛	16,900	16,800	16,900	16,900	17,000	17,000	17,000	17,100
高知	15,300	15,500	15,500	15,600	15,700	15,700	15,700	15,700
熊本	18,400	18,500	18,100	18,300	18,800	18,900	19,800	19,600
大分	15,600	16,000	16,100	15,900	16,000	15,800	15,900	15,700
宮崎	16,900	16,900	17,000	17,000	17,000	17,400	17,400	17,500
鹿児島	16,500	16,400	16,400	16,300	16,400	16,600	16,800	16,900

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,300	14,400	14,500	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	24,000	24,000	24,200	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400	25,200	25,200	25,700
長野	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
北海道	14,500	14,500	14,500	14,800	14,900	14,800	14,900	14,900
岩手	25,700	25,700	25,700	25,200	25,100	25,100	25,500	26,000
長野	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	22,700	22,900

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
(2026年9月7日修正（黄色セル参照）)

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
福島	20,400	21,200	26,300	26,100	25,800	25,800	25,800	25,200	25,200	25,200	25,200	23,000
茨城	25,300	25,700	26,100	26,100	26,100	26,100	26,100	25,700	25,700	25,400	24,400	23,400
岐阜	24,600	25,000	25,100	25,200	25,200	25,300	25,100	25,100	25,100	24,800	25,200	25,200
静岡	25,200	23,400	24,000	24,000	24,600	24,100	23,800	23,500	23,400	24,400	25,100	25,000
愛知	24,500	24,200	24,200	23,700	23,800	23,300	23,300	23,400	23,400	23,400	23,700	23,700
三重	26,400	26,900	27,200	27,500	27,500	27,500	26,100	26,600	28,300	28,800	28,800	28,800
岡山	25,400	25,900	26,900	25,800	25,400	25,900	26,300	26,300	26,400	26,400	26,500	26,100
広島	26,400	26,500	26,800	26,600	25,800	25,000	25,200	25,800	25,700	25,500	25,600	23,900
徳島	22,600	22,600	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200
愛媛	25,600	27,000	27,500	27,500	27,400	25,400	25,500	27,500	27,800	26,300	26,100	26,100
高知	25,500	25,800	25,900	26,700	26,900	26,800	26,200	26,300	26,200	26,100	26,000	25,800
福岡	27,300	27,500	27,800	26,600	26,000	25,700	25,600	26,200	25,000	24,600	25,600	24,000
佐賀	21,600	23,100	23,700	23,700	23,800	23,800	23,300	23,300	23,300	23,300	23,300	23,300
熊本	28,500	28,000	27,900	26,500	26,200	26,400	26,600	27,600	26,600	25,800	26,300	26,200
大分	27,500	27,500	27,500	27,100	26,200	25,000	25,100	25,900	25,900	24,800	25,600	24,900
宮崎	22,000	22,700	24,400	24,400	24,100	24,200	24,400	24,600	24,400	23,800	23,800	23,600

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
福島	22,300	22,300	22,300	22,100	22,100	22,100	20,400	19,800
茨城	23,000	23,000	22,800	22,400	22,200	21,800	21,500	21,000
岐阜	25,200	25,000	24,800	24,600	24,400	24,400	24,000	24,000
静岡	25,000	24,700	24,500	23,900	22,600	22,300	21,700	22,900
愛知	23,700	23,700	23,700	23,500	22,600	22,600	22,600	23,300
三重	28,900	28,600	28,600	28,300	25,300	25,300	25,300	25,300
岡山	25,500	27,300	24,100	20,300	19,900	20,500	22,400	25,200
広島	24,000	25,400	23,100	19,100	18,100	18,100	19,600	21,200
徳島	23,200	23,200	23,200	22,600	22,600	22,600	22,600	22,600
愛媛	25,700	25,300	24,700	24,000	22,100	22,000	20,900	20,800
高知	25,500	25,300	25,300	24,900	23,200	23,300	22,400	22,200
福岡	22,400	22,000	22,500	20,400	20,300	19,800	20,300	20,800
佐賀	23,200	22,500	22,500	22,200	20,800	20,800	20,800	19,500
熊本	24,100	23,700	23,500	22,200	21,900	21,600	21,800	23,300
大分	23,900	23,500	22,600	21,600	21,400	21,300	21,700	21,800
宮崎	23,200	22,900	22,600	20,500	19,800	19,500	19,000	18,900

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
青森	12,300	12,300	12,300	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	13,300
岩手	10,800	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
秋田	14,300	14,300	14,300	14,200	14,200	14,300	14,300	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
石川	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,700	14,700	14,700
静岡	14,500	14,600	14,500	14,500	14,500	14,600	16,000	16,400	16,600	16,600	16,300	15,900
鳥取	12,700	12,800	12,900	13,200	14,500	14,500	14,500	14,300	14,200	14,000	13,900	14,000
島根	14,700	14,800	15,000	14,800	15,200	14,800	14,800	14,900	15,000	15,000	15,000	15,200
広島	13,200	13,200	13,200	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800
徳島	14,800	14,800	14,800	14,900	15,200	15,200	15,600	15,200	15,200	15,800	15,600	15,500
熊本	14,000	14,200	14,100	14,200	13,900	13,900	13,600	13,700	13,700	14,000	13,800	14,000
大分	14,000	14,900	15,200	14,300	14,300	13,800	13,800	14,000	13,800	13,800	13,800	14,300
宮崎	15,600	15,500	15,500	15,500	15,400	15,200	15,200	15,200	15,100	15,400	15,400	15,500

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
青森	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
岩手	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,000	11,000	11,000
宮城	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
秋田	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
石川	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700	15,100	15,100
静岡	16,000	15,800	15,800	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700
鳥取	13,800	13,800	14,100	14,200	14,300	14,200	14,100	14,000
島根	15,000	15,200	15,000	14,900	14,900	14,800	14,800	14,700
広島	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800
徳島	15,500	15,700	16,000	15,900	15,800	15,800	15,600	15,600
熊本	13,800	13,800	14,400	14,400	14,400	14,200	14,200	14,100
大分	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900	15,200	16,000	15,400
宮崎	15,700	16,000	15,700	16,100	16,300	16,300	16,500	16,500

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

(2026年9月7日修正（黄色セル参照）)

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
愛知			66,100			66,100			66,100			66,100
大阪			66,000			62,700			62,700			66,000
福岡			56,900			58,200			53,000			53,000
佐賀			58,000			58,000			56,000			55,000
熊本			51,300			51,200			51,400			50,400
宮崎			48,100			52,500			48,900			48,900

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
愛知			66,100			66,100		
大阪			66,000			66,000		
福岡			53,100			55,700		
佐賀			55,100			60,500		
熊本			50,700			50,700		
宮崎			48,100			48,400		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	59,300	59,400	60,100	60,700	64,800	61,400	61,400	63,100	63,100	61,400	60,100	60,100
東京	74,500	76,200	76,200	76,200	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000
神奈川	85,500	86,200	88,600	88,900	88,900	88,900	89,300	89,300	89,300	89,300	89,300	89,300
愛知	85,700	85,700	85,700	85,900	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100
大阪	77,600	77,600	77,600	80,500	80,500	80,300	80,300	80,300	80,300	80,500	80,500	80,800
福岡	70,600	72,200	74,600	74,700	74,900	74,600	74,600	74,600	74,600	74,600	74,600	74,700
佐賀	83,000	84,900	85,800	86,100	86,100	86,200	86,200	85,200	85,300	85,300	86,100	86,100
熊本	68,800	68,800	68,500	71,800	71,800	71,800	71,800	71,800	74,300	73,600	73,600	73,600
宮崎	72,400	72,400	73,600	75,100	69,900	69,800	68,900	68,900	68,900	68,900	68,900	68,900

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
群馬	60,300	62,300	62,000	62,000	62,400	63,600	63,600	63,600
東京	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	78,100	78,100
神奈川	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	89,300
愛知	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100
大阪	80,800	80,800	82,700	82,900	82,900	82,900	82,900	82,900
福岡	74,700	74,700	76,300	76,300	76,300	76,300	76,300	76,400
佐賀	86,300	87,900	87,900	88,800	88,800	88,800	89,200	89,100
熊本	73,600	75,100	75,600	77,400	78,100	79,600	80,800	80,800
宮崎	68,900	68,900	68,900	69,200	69,200	69,200	69,200	69,400

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
愛知			88,000			88,000			88,000			88,000
大阪			81,300			85,600			85,600			86,800
福岡			72,200			75,300			75,200			75,200
熊本			68,800			69,400			69,800			70,500
宮崎			79,400			80,300			79,500			79,500

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
愛知			88,000			88,000		
大阪			86,800			86,800		
福岡			75,200			75,200		
熊本			69,400			69,400		
宮崎			78,000			78,300		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
（2026年9月7日修正（黄色セル参照））

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
群馬	66,900	75,200	75,200	77,700	79,400	79,400	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900
東京	106,400	106,400	106,400	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100
神奈川	111,100	111,900	112,200	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400
愛知	94,200	94,200	94,700	94,400	94,400	94,400	93,900	93,900	93,900	93,900	94,100	94,100
大阪	93,500	93,500	97,800	100,400	100,400	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800
福岡	89,500	91,200	92,900	93,900	93,900	93,900	92,200	92,200	90,500	90,500	90,500	90,500
佐賀	79,600	93,200	93,200	85,400	85,400	86,100	83,800	83,800	81,900	81,900	81,900	81,900
熊本	84,100	84,100	84,200	85,900	85,900	85,900	85,900	85,900	86,900	86,900	87,300	87,300
宮崎	107,700	104,300	105,700	107,700	105,000	103,500	103,500	103,500	102,700	101,200	101,200	101,200

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
群馬	82,000	82,000	82,000	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900
東京	108,100	107,400	107,400	107,400	108,100	108,100	108,100	108,100
神奈川	111,000	111,000	111,000	111,000	111,000	112,400	112,400	112,400
愛知	94,100	94,100	94,100	94,100	94,100	94,100	94,100	94,100
大阪	97,800	97,800	97,800	97,800	96,100	96,100	96,100	96,100
福岡	90,500	90,500	90,500	90,500	88,000	87,200	87,200	87,200
佐賀	81,900	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	100,000	100,000
熊本	87,200	87,200	87,200	87,900	87,900	87,900	87,900	87,900
宮崎	101,200	101,200	101,200	101,400	101,400	101,400	101,400	101,500

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
群馬	64,300	65,300	65,300	71,100	68,900	68,900	68,900	71,100	68,900	68,500	68,500	68,900
東京	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200
神奈川	119,500	120,500	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600
新潟	89,000	89,000	89,000	89,000	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	89,000
愛知	86,400	86,400	86,500	86,300	86,500	86,500	86,500	86,500	86,500	86,500	86,700	86,700
大阪	88,200	88,200	88,200	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500
福岡	74,700	76,700	78,000	78,100	78,400	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100
佐賀	85,400	85,500	88,300	90,300	90,300	90,300	90,300	87,500	87,400	85,600	87,700	87,700
熊本	68,700	68,700	69,300	71,600	71,600	71,700	71,700	71,700	74,300	73,900	75,500	75,500
宮崎	78,100	88,800	88,800	89,800	88,800	88,000	87,400	87,400	87,400	87,400	87,400	88,000

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
群馬	70,200	71,700	71,700	71,000	71,000	71,800	73,100	73,100
東京	76,200	76,200	76,200	76,500	76,500	76,500	78,900	78,900
神奈川	122,200	122,200	122,200	122,200	122,200	122,200	122,200	122,200
新潟	注1 113,700	注2 78,100	84,400	84,400	84,400	82,900	83,200	83,700
愛知	86,700	86,700	86,700	86,700	86,700	86,700	86,700	86,700
大阪	88,300	88,300	88,300	88,500	88,500	88,500	88,500	87,800
福岡	78,100	78,700	80,000	81,300	81,300	81,300	81,400	81,400
佐賀	88,800	90,000	89,900	90,800	90,800	90,800	91,000	90,900
熊本	77,800	80,400	80,400	83,000	83,100	83,200	84,300	84,300
宮崎	88,000	88,000	88,000	90,500	90,500	90,500	90,500	91,000

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：スギ間柱（乾燥材）の令和8年1月及び2月の新潟県の価格は、調査対象事務所の変更に伴う影響があるため利用にあたっては留意されたい。

注3：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

（2026年9月7日修正（黄色セル参照））

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
東京	95,400	95,700	94,300	94,600	94,800	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100
神奈川	102,900	103,200	103,200	103,200	103,200	104,600	104,600	104,500	104,500	105,900	105,900	105,900
愛知	85,200	84,500	84,500	85,000	85,500	86,600	87,000	87,000	87,000	87,500	87,500	87,500
大阪	79,200	79,300	79,300	79,300	81,500	81,500	81,500	81,500	81,500	82,600	82,600	83,700
福岡	85,700	85,700	85,700	85,700	85,700	79,200	79,200	81,400	81,400	82,200	82,200	82,200

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
東京	95,100	95,100	95,400	95,400	95,400	95,400	96,100	96,100
神奈川	105,900	105,900	105,900	105,900	105,900	107,500	107,700	107,700
愛知	88,000	89,200	89,300	89,700	91,400	91,800	91,800	91,800
大阪	83,700	83,700	83,700	83,700	83,700	83,700	83,700	83,700
福岡	84,400	86,400	88,000	88,000	88,000	88,000	88,800	88,800

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2025年

単位：円／本

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
岩手	3,500	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
山形	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,200	2,200	2,200	2,300
福島	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
茨城	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
栃木	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
広島	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
愛媛	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
佐賀	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
宮崎	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
岩手	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
山形	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,400
福島	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,400
茨城	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,500	2,500
栃木	2,100	2,100	2,100	2,100	2,400	2,400	2,400	2,400
広島	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,400
愛媛	2,300	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
佐賀	2,300	2,300	2,300	2,400	2,300	2,500	2,500	2,500
宮崎	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,500	2,500

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2025年

単位：円／本

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
秋田	2,800	2,800	2,800	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900
兵庫	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
奈良	2,600	2,600	2,700	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
岡山	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,100
愛媛	2,600	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
秋田	3,000	2,800	2,800	2,900	3,000	3,100	3,100	3,100
兵庫	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	3,000	3,000
奈良	2,900	2,900	2,900	3,000	3,000	3,200	3,200	3,200
岡山	3,100	3,100	3,100	3,200	3,200	3,400	3,400	3,400
愛媛	2,800	2,800	2,800	—	—	—	—	—

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
(2026年9月7日修正（黄色セル参照）)

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2025年

単位：円／枚

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
群馬			1,320			1,380			1,380			1,380
東京			1,360			1,430			1,440			1,440
神奈川			1,350			1,380			1,390			1,390
新潟			2,300			1,550			1,580			1,550
愛知			1,260			1,390			1,420			1,410
大阪			1,240			1,330			1,340			1,310
佐賀			1,330			1,330			1,330			1,330
熊本			1,520			1,520			1,370			1,370
宮崎			1,680			1,650			1,650			1,640

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
群馬			1,380			1,760		
東京			1,450			1,830		
神奈川			1,400			1,660		
新潟			1,490			1,910		
愛知			1,370			1,750		
大阪			1,300			1,650		
佐賀			1,750			1,760		
熊本			1,370			1,490		
宮崎			1,640			1,770		

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	8,200	8,200	8,200	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
青森	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
岩手	8,800	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
宮城	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
秋田	7,900	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,300	8,400	8,100	8,100	8,100	8,100
福島	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,100	7,200	7,200	7,100	7,200	7,100
茨城	8,400	8,400	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
長野	7,600	7,600	7,600	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
岐阜	9,300	10,500	9,200	9,300	9,700	9,700	10,200	10,600	9,900	9,800	9,900	10,000
三重	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
兵庫	10,200	10,200	9,600	9,700	9,800	9,800	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
鳥取	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
徳島	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900
高知	5,600	5,600	5,600	5,700	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,500	5,800	5,800
熊本	8,900	9,200	8,900	8,700	8,800	8,900	9,100	9,300	9,000	9,100	9,300	9,700
大分	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
宮崎	7,200	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
鹿児島	9,000	8,900	9,000	9,000	8,900	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	9,100	9,100

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
北海道	8,500	8,400	8,500	8,600	8,600	8,700	8,600	8,700
青森	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
岩手	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
宮城	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
秋田	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100
福島	7,100	7,100	7,200	7,100	7,200	7,200	7,300	7,200
茨城	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,800
長野	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	8,200	8,200	8,200
岐阜	9,800	9,900	9,700	10,000	10,200	9,500	10,000	10,400
三重	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
兵庫	10,100	10,100	9,900	9,900	9,900	10,100	10,100	10,400
鳥取	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
徳島	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900
高知	5,700	5,700	5,800	5,800	5,700	5,600	5,600	5,700
熊本	9,400	9,400	9,100	9,500	9,000	9,700	9,800	9,700
大分	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
宮崎	7,500	7,500	7,500	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600
鹿児島	9,100	9,000	9,200	9,100	9,000	9,100	9,100	8,800

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
（2026年9月7日修正（黄色セル参照））

○チップ用丸太（広葉樹）

・2025年

単位：円／m³

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200
青森	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
岩手	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
宮城	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
秋田	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	12,700	12,700	12,700	12,700
福島	9,700	9,800	9,900	9,900	9,900	9,600	10,000	10,100	10,300	10,300	10,100	10,000
群馬	11,000	10,800	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
山梨	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
京都	8,300	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
鳥取	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	12,000	12,000	12,700	12,700
島根	12,000	11,900	11,000	11,500	12,100	12,000	12,100	12,100	11,700	11,900	12,100	12,100
岡山	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
広島	6,700	7,200	7,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200
山口	11,000	11,100	11,100	11,000	10,600	10,800	10,900	10,900	11,100	10,800	10,900	10,500
熊本	8,800	8,200	8,000	8,000	8,100	8,600	8,500	8,400	8,200	8,300	8,300	8,600
宮崎	12,800	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
鹿児島	9,100	9,100	9,200	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100	9,000	9,100	9,200

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
北海道	10,300	10,300	10,300	10,800	10,800	10,900	10,800	10,800
青森	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	12,600	12,600
岩手	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
宮城	9,600	9,600	9,600	9,600	9,500	9,500	9,500	9,500
秋田	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700
福島	10,200	10,100	10,300	10,000	10,100	10,300	10,100	9,800
群馬	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
山梨	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
京都	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
鳥取	12,700	12,700	12,100	12,100	12,000	12,000	12,000	12,000
島根	12,100	12,200	12,100	12,000	12,700	12,600	12,500	12,700
岡山	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
広島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,300	8,200	8,200	8,200
山口	10,700	11,200	11,200	10,900	11,000	11,000	10,800	10,800
熊本	8,200	8,000	8,100	8,100	8,500	8,300	8,200	8,800
宮崎	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,100
鹿児島	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400	9,300	9,200	9,300

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。
(2026年9月7日修正（黄色セル参照）)

○木材チップ（針葉樹）

・2025年

単位：円／t

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	17,900	17,900	17,900	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
青森	17,600	17,600	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400
岩手	20,400	20,400	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	20,600	20,700	20,700	20,700	20,700
宮城	21,700	21,800	21,800	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,400	21,400	21,400	21,300
秋田	15,900	15,900	15,900	16,000	16,000	16,000	16,100	16,100	15,800	15,800	15,800	15,800
山形	11,100	10,700	11,000	11,800	11,900	11,800	11,900	11,900	11,800	11,900	11,900	11,900
福島	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300
栃木	12,900	14,300	14,300	14,300	14,400	14,400	14,400	14,300	14,400	14,400	14,400	14,400
山梨	18,300	18,300	18,300	18,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,200
長野	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400
三重	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,000	21,100	21,700	21,600	21,500	21,400
滋賀	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
京都	26,300	26,300	26,300	26,300	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
兵庫	17,600	17,800	18,900	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
島根	16,500	16,500	16,500	16,800	16,800	16,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
徳島	16,200	16,200	16,200	16,200	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	13,100	13,100	12,300	12,300	12,300	12,400	12,700	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600
高知	21,000	21,000	21,000	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100
熊本	18,000	18,200	18,200	18,200	18,700	18,700	18,700	18,300	18,300	18,400	18,900	18,900
鹿児島	20,800	20,800	20,100	20,400	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,900	20,900

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
北海道	18,200	18,200	18,200	18,500	18,600	18,600	18,600	18,600
青森	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400
岩手	20,700	20,700	20,700	20,700	20,800	20,800	20,800	20,800
宮城	21,400	21,400	21,300	21,300	21,700	21,700	21,700	21,700
秋田	16,000	16,000	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,000
山形	11,900	11,700	11,600	11,600	11,800	11,900	11,900	11,900
福島	16,300	16,100	16,100	16,300	17,100	17,600	17,600	17,600
栃木	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	15,200
山梨	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	18,300
長野	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	19,800	19,800	19,800
三重	21,500	21,500	21,500	21,400	21,700	21,900	21,500	22,000
滋賀	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
京都	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
兵庫	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
島根	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	12,600	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400	13,400
高知	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100
熊本	18,900	18,800	18,800	18,800	18,800	18,800	18,900	18,900
鹿児島	21,000	21,000	21,000	21,000	21,100	21,100	21,100	19,600

○木材チップ（広葉樹）

・2025年

単位：円／t

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
北海道	23,600	23,600	23,600	24,200	25,700	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800
青森	21,000	21,000	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900
岩手	20,600	20,600	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
宮城	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
秋田	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,700	22,100	22,100	22,100	22,100
福島	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400
群馬	11,000	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
山梨	17,600	17,600	17,600	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
島根	28,400	28,400	28,000	28,000	28,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,700	28,700
広島	24,500	24,400	24,300	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	27,000	27,000
鹿児島	19,800	19,800	19,800	20,100	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,500	20,500

・2026年

都道府県	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
北海道	25,800	25,800	25,800	25,900	26,100	26,100	26,100	26,100
青森	21,900	21,900	21,900	21,900	22,900	22,900	24,500	24,500
岩手	20,800	20,800	20,800	21,000	21,000	21,000	21,200	21,200
宮城	21,500	21,500	21,500	21,500	22,200	22,200	22,200	22,200
秋田	22,100	22,100	22,100	22,100	22,100	22,100	22,100	22,100
福島	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400
群馬	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
山梨	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
島根	28,700	28,700	28,400	28,400	29,000	29,000	29,000	29,000
広島	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
鹿児島	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	21,000

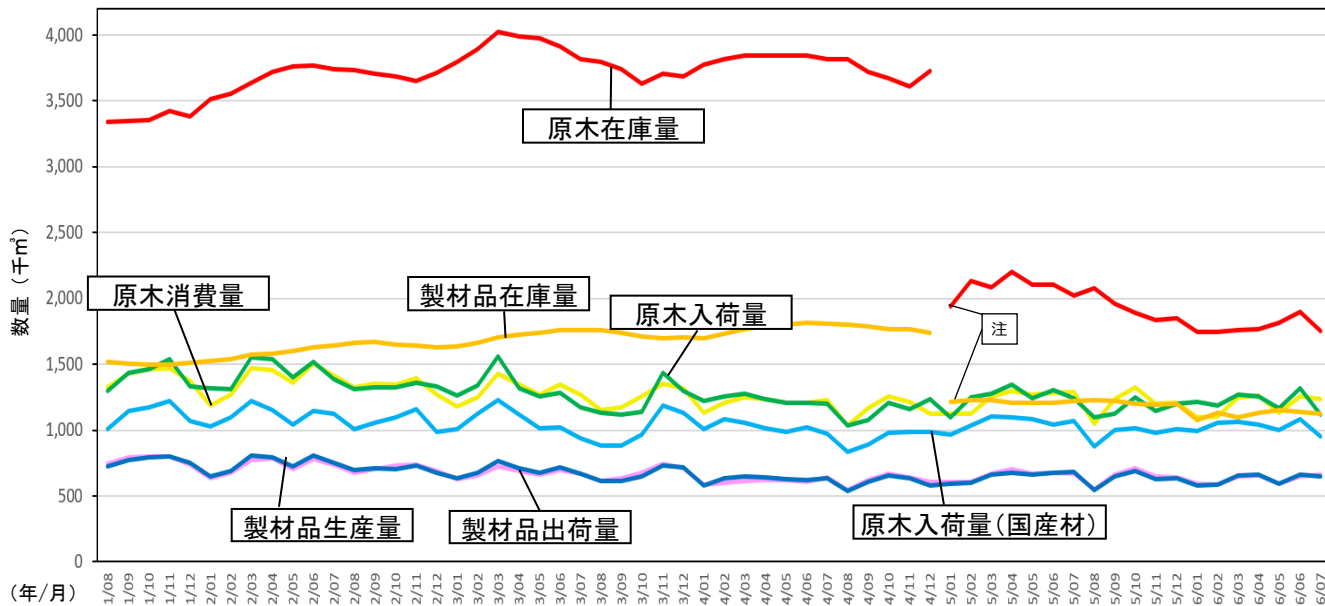
資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。

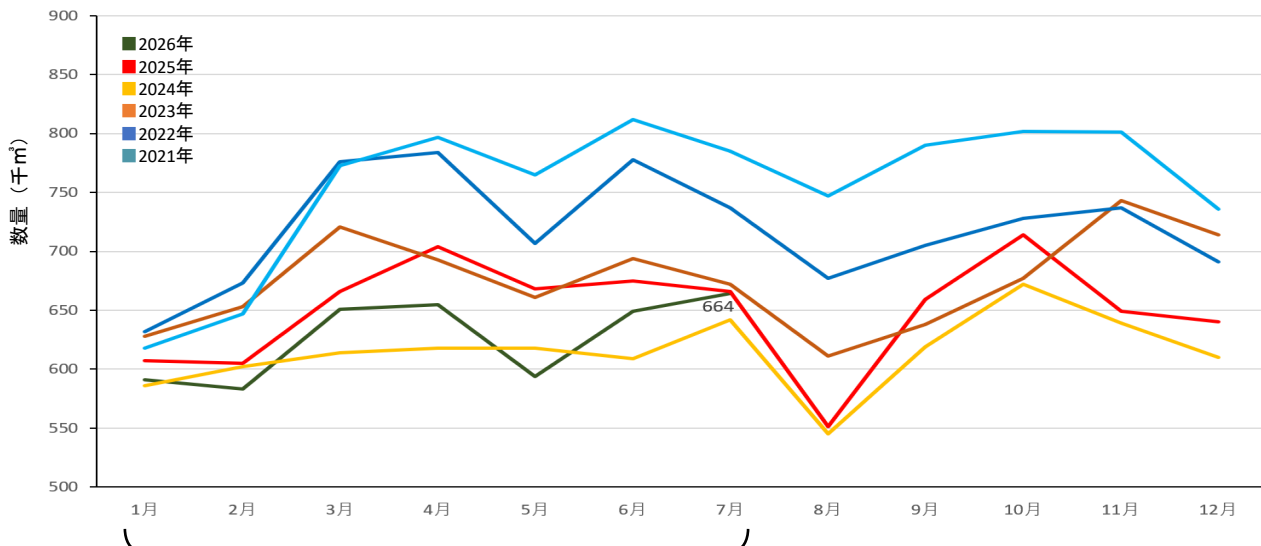
(2026年9月7日修正（黄色セル参照）)

- 2026年1～7月の原木の入荷量は、8,524千 m^3 （前年同期比 97%）。
- 同様に製材品の出荷量は、4,387千 m^3 （前年同期比 96%）。



注：「原木在庫量」「製材品在庫量」は、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、2024年以前の数値とは接続しない。

○製材品出荷量の月別推移（全国）

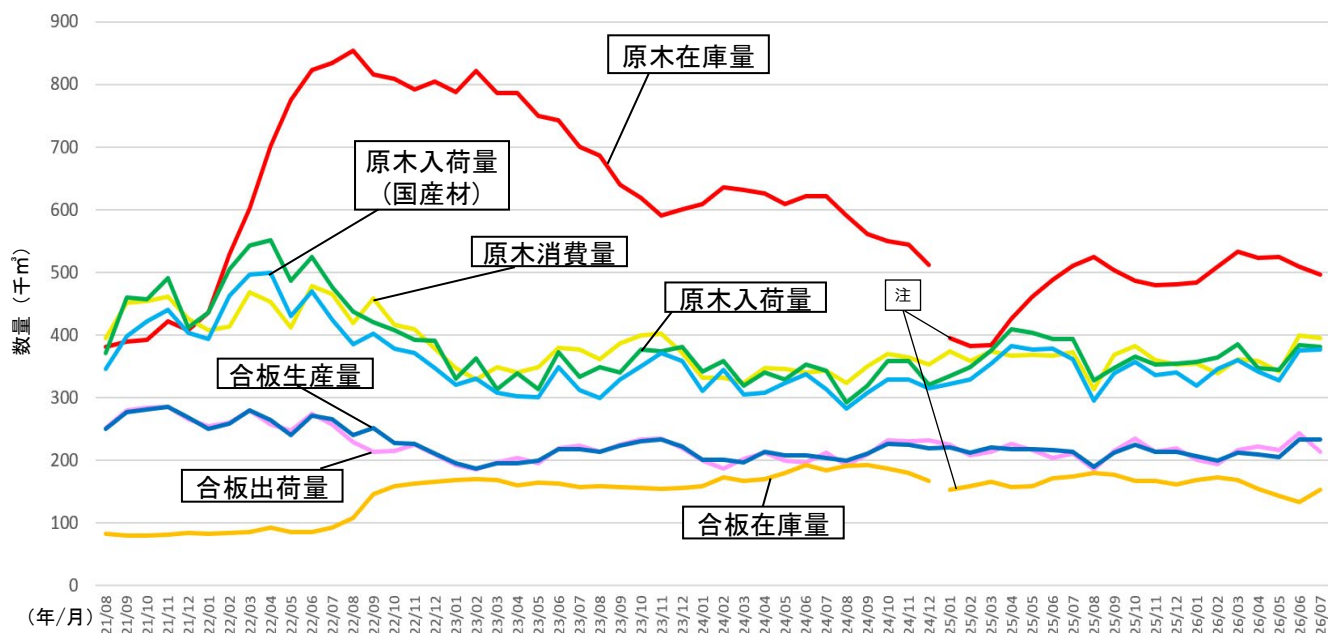


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～7月原木入荷量 合計(千 m^3)	9,617	10,028	9,189	8,606	8,754	8,524
前年との比較	109%	104%	92%	94%	102%	97%
1～7月出荷量 合計(千 m^3)	5,197	5,087	4,722	4,289	4,591	4,387
前年との比較	110%	98%	93%	91%	107%	96%

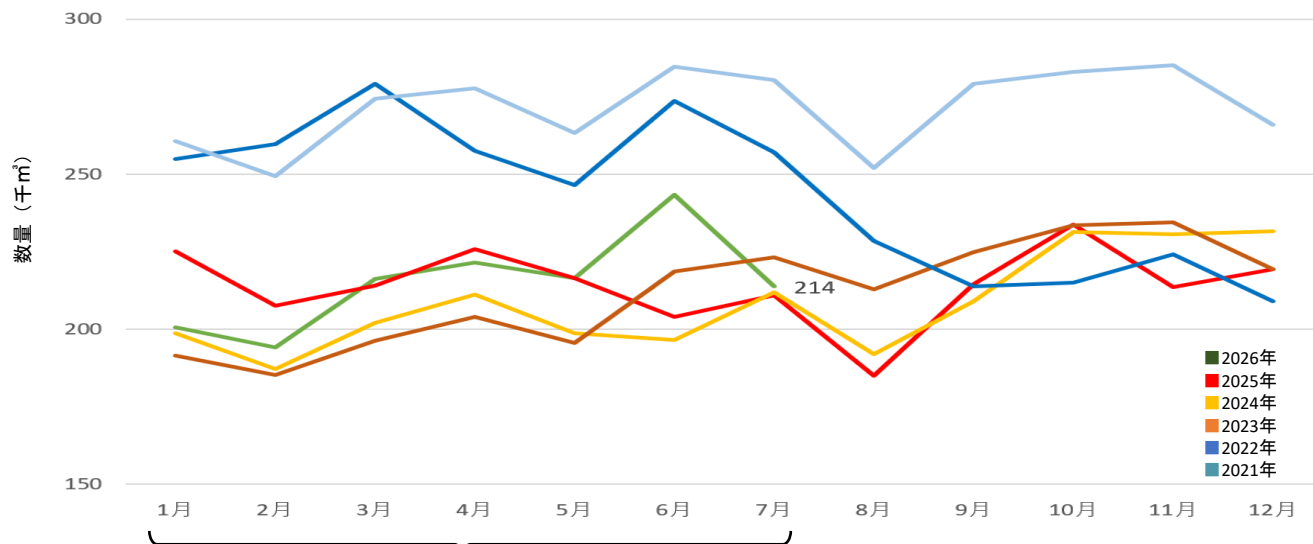
資料：農林水産省「製材統計」「木材需給報告書」

注：2026年は「製材統計」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

- 2026年1～7月の原木の入荷量は、2,562千 m^3 （前年同期比 96%）。
- 同様に合板の出荷量は、1,506千 m^3 （前年同期比 100%）。



○合板出荷量の月別推移（全国）

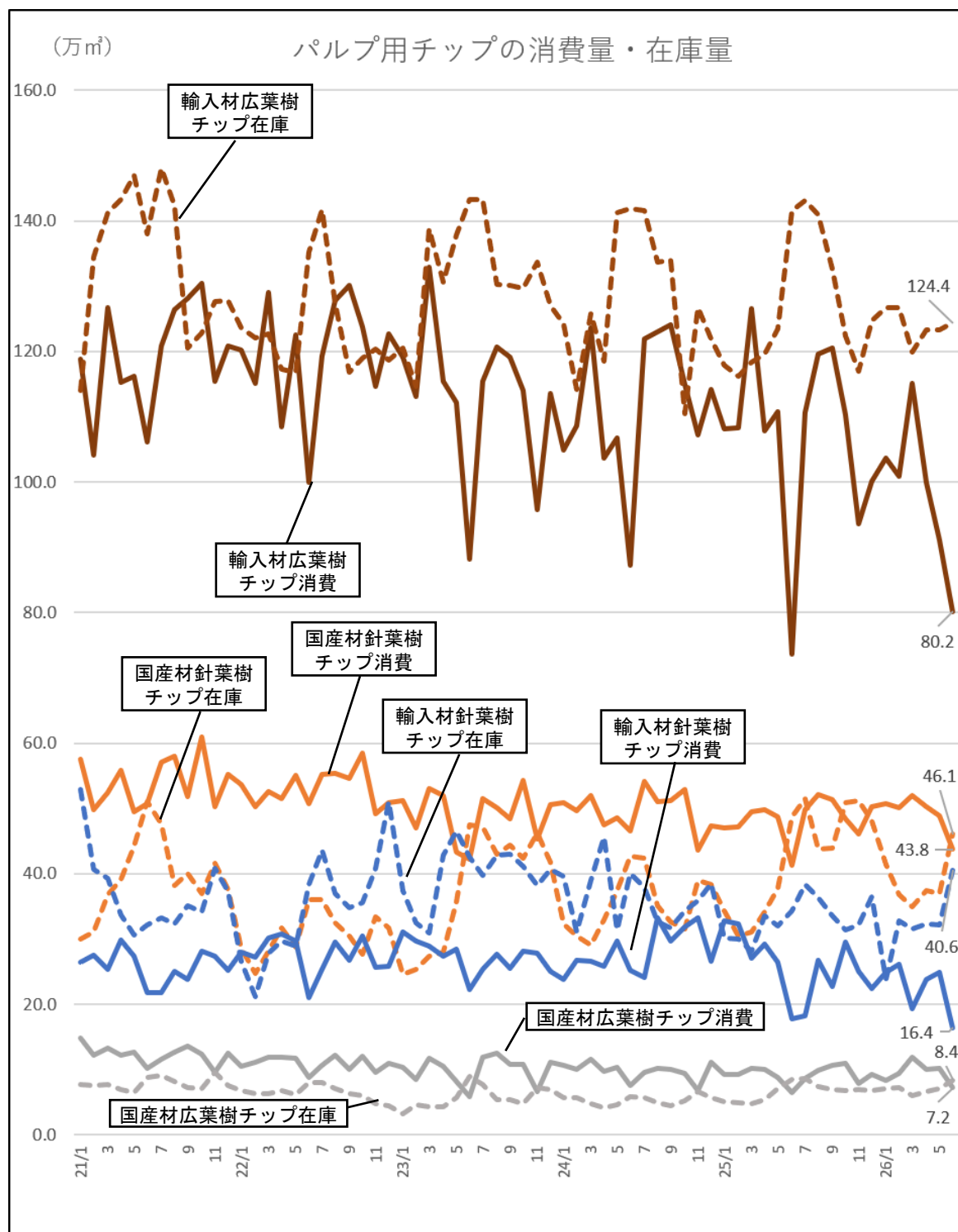


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～7月原木入荷量 合計(千 m^3)	2,985	3,522	2,363	2,384	2,657	2,562
前年との比較	110%	118%	67%	101%	111%	96%
1～7月出荷量 合計(千 m^3)	1,890	1,828	1,414	1,406	1,504	1,506
前年との比較	111%	97%	77%	99%	107%	100%

資料：農林水産省「合板統計」「木材需給報告書」

注：2026年は「合板統計」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

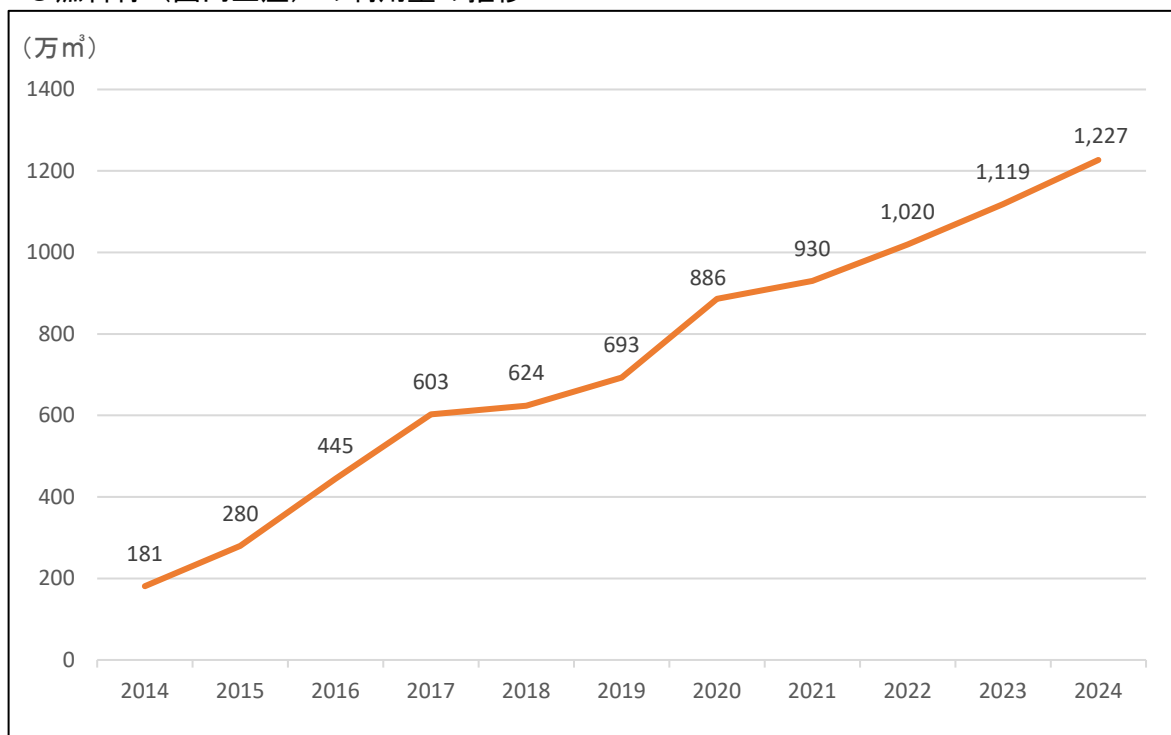
- パルプ用チップの消費について、2026年6月の輸入材広葉樹チップの消費量は80.2万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は43.8万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約7倍)。
- 2026年7月の紙の生産高は78万トン。板紙の生産高は98万トンとなっている。

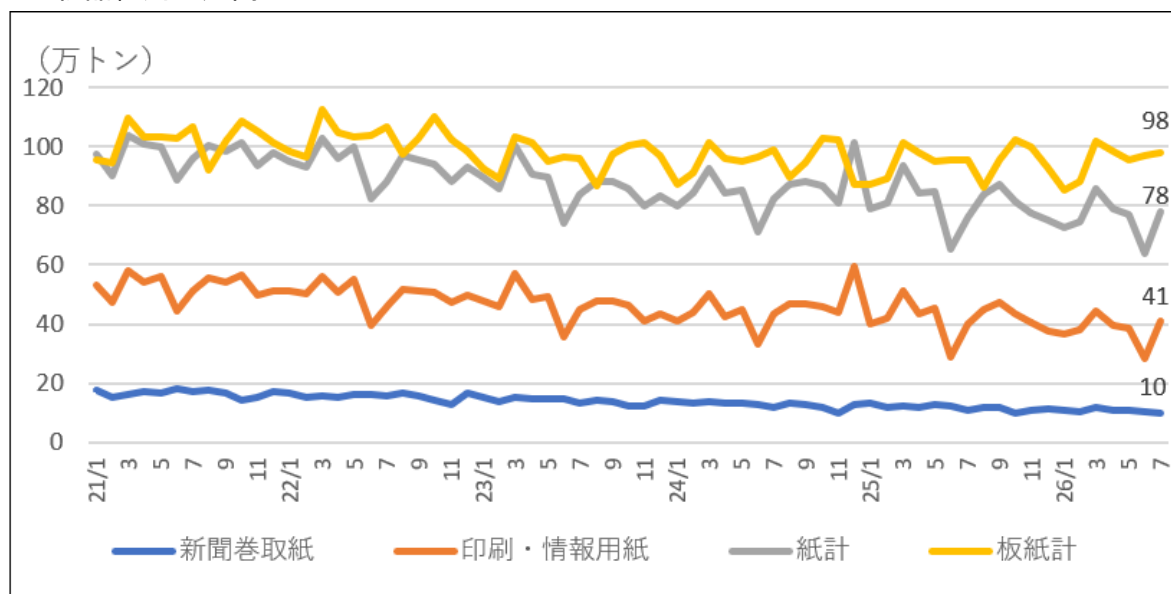
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出力は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

- 2025年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は2,007万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹	広葉樹	
						スギ	ヒノキ
全 国	20,071	12,082	4,265	3,724	18,798	12,184	1,273
北 海 道	2,795	1,372	621	802	2,334	80	461
青 森	833	358	393	82	815	740	18
岩 手	1,130	496	452	182	1,057	693	73
宮 城	682	216	295	171	649	606	33
秋 田	1,205	652	399	154	1,175	1,127	30
山 形	265	205	58	2	265	254	0
福 島	912	591	75	246	860	685	52
茨 城	470	342	4	124	428	338	42
栃 木	521	409	8	104	482	345	39
群 馬	176	139	14	23	163	133	13
埼 玉	69	37	1	31	46	30	23
千 葉	64	11	2	51	40	33	24
東 京	48	20	4	24	47	26	1
神 奈 川	4	3	0	1	3	1	1
新 潟	93	56	25	12	91	90	2
富 山	64	24	26	14	62	54	2
石 川	105	48	46	11	100	94	5
福 井	103	50	33	20	102	86	1
山 梨	89	23	46	20	82	21	7
長 野	449	153	209	87	436	70	13
岐 阜	337	239	51	47	327	179	10
静 岡	286	154	105	27	284	136	2
愛 知	177	111	53	13	173	86	4
三 重	308	158	96	54	301	156	7
滋 賀	67	22	14	31	58	30	9
京 都	148	47	50	51	140	111	8
大 阪	25	2	4	19	21	9	4
兵 庫	382	84	165	133	372	247	10
奈 良	87	73	4	10	86	52	1
和 歌 山	131	105	10	16	128	73	3
鳥 取	200	57	88	55	175	138	25
島 根	402	120	145	137	323	237	79
岡 山	489	360	31	98	450	176	39
広 島	293	98	84	111	220	121	73
山 口	198	98	61	39	179	125	19
徳 島	342	179	80	83	341	280	1
香 川	6	6	-	-	6	1	-
愛 媛	544	482	8	54	543	321	1
高 知	583	389	38	156	577	213	6
福 岡	158	142	3	13	155	112	3
佐 賀	128	118	3	7	128	65	0
長 崎	74	34	0	40	69	30	5
熊 本	1,021	861	103	57	1,000	697	21
大 分	1,170	945	150	75	1,160	953	10
宮 崎	1,829	1,608	110	111	1,801	1,670	28
鹿 児 島	608	384	98	126	544	460	64
沖 縄	1	1	-	0	0	-	1

資料：農林水産省「令和7年木材統計」（2026年6月12日公表）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に係る秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

- 2024年の都道府県別木材生産の産出額の合計は4,770億円。

単位：1,000万円

都 道 府 県	林業産出額	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
			針葉樹	スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ		
北海道	4,076	3,190	2,760	33	—	0	2,698	430	—
青森	828	777	749	613	—	30	60	28	—
岩手	1,853	1,399	1,254	714	0	120	420	132	—
宮城	1,016	590	561	521	7	22	12	27	2
秋田	1,570	1,198	1,155	1,090	0	8	56	43	—
山形	747	366	364	346	0	2	16	2	—
福島	1,297	863	801	507	174	28	80	61	0
茨城	877	559	508	342	163	2	0	48	2
栃木	1,092	695	638	443	184	3	2	55	0
群馬	709	225	201	152	32	0	16	23	—
埼玉	313	71	51	34	16	0	1	19	—
千葉	235	76	44	37	6	—	1	31	0
東京	53	33	31	15	15	0	0	2	—
神奈川	39	10	10	5	6	—	—	0	0
新潟	4,961	102	98	98	0	1	0	3	0
富山	463	81	78	66	2	1	9	3	—
石川	181	126	122	103	8	1	6	4	—
福井	158	112	111	92	17	1	0	1	0
山梨	128	92	81	16	11	15	36	4	—
長野	6,594	645	633	77	125	56	369	5	—
岐阜	1,030	732	696	354	331	1	7	34	0
静岡	1,085	384	383	151	229	1	—	1	0
愛知	285	204	200	93	95	0	10	4	—
三重	1,015	422	413	201	211	1	—	9	—
滋賀	94	45	43	25	17	1	0	2	1
京都	267	170	163	125	37	1	—	7	1
大阪	50	15	11	4	4	1	2	4	—
兵庫	384	303	298	183	110	1	0	5	0
奈良	200	142	139	55	84	—	—	3	0
和歌山	361	145	140	79	61	0	—	1	3
鳥取	329	195	185	141	41	3	—	10	—
島根	507	383	318	209	86	18	0	64	0
岡山	779	613	596	120	472	2	—	12	4
広島	923	439	387	179	194	15	—	52	0
山口	337	265	246	149	96	2	—	13	5
徳島	1,011	336	327	230	97	1	—	9	0
香川	460	11	7	1	5	1	—	3	0
愛媛	790	669	667	293	373	2	—	1	0
高知	898	689	685	202	420	0	—	2	3
福岡	1,610	221	218	145	73	0	—	3	0
佐賀	175	162	161	72	89	0	—	0	1
長崎	604	150	144	69	75	0	—	6	—
熊本	1,629	1,404	1,382	882	499	1	—	15	4
大分	1,807	1,229	1,207	965	242	0	—	11	3
宮崎	2,875	2,350	2,338	2,083	255	1	0	11	—
鹿児島	943	804	743	597	143	0	—	48	14
沖縄	58	1	0	—	—	—	—	1	—
合 計	47,698	23,694	22,348	12,909	5,106	342	3,803	1,253	44

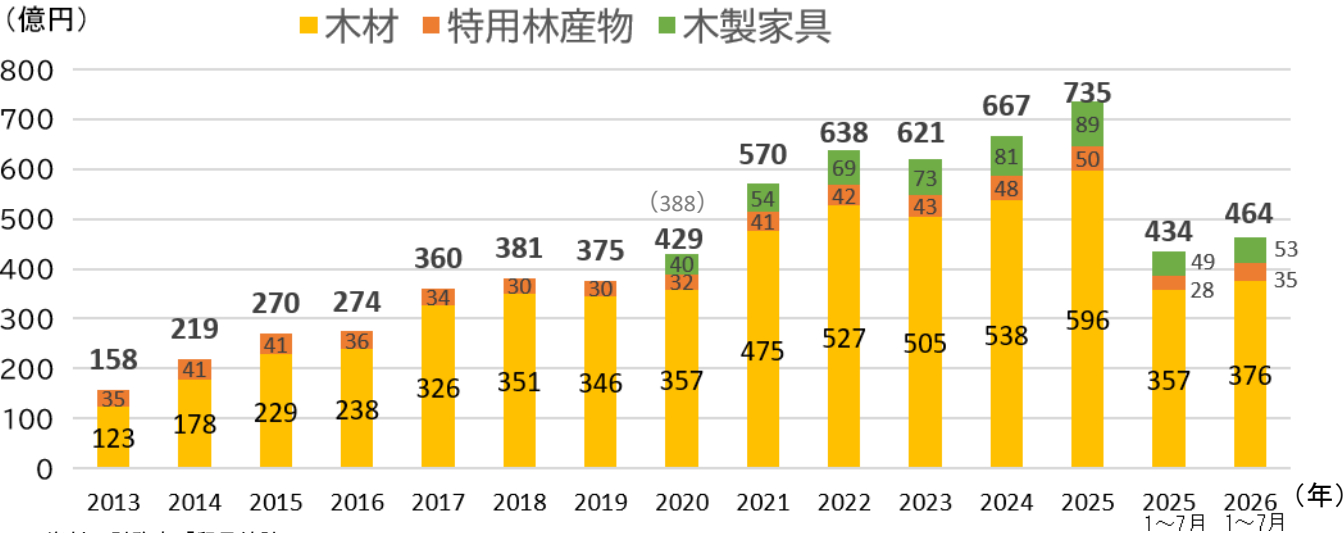
資料：農林水産省「令和6年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値に計上する木材生産におけるパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を計上しない。

また、全国値には計上しない木材生産における他都道府県に販売されたしいたけ原木の産出額を計上する。

- 2026年 1～7 月の林産物輸出額は、464億円（前年同期比107%）となった。
内訳は、木材が376億円（同105%）、特用林産物が35億円（同125%）、
木製家具が53億円（同107%）となった。
- 2026年 7 月の林産物輸出額は、70億円（前年同月比110%）となった。
内訳は、木材が55億円（同112%）、特用林産物が 6 億円（同91%）、
木製家具が 9 億円（同107%）となった。

○林産物輸出額の推移
（億円）



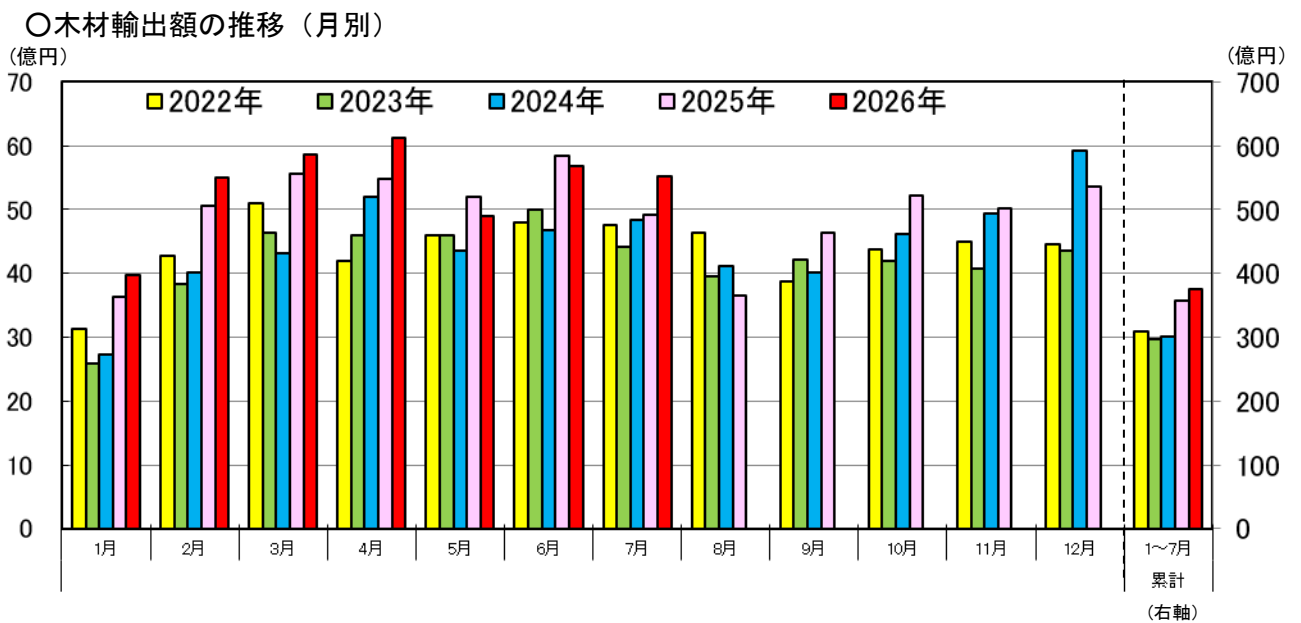
資料：財務省「貿易統計」
※：特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。
※：2020年の（388）は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。
※：四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額（億円）

	2025年				2026年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	44	36	3	5	50	115%	141%	40	4	6
2月	62	51	5	7	67	107%	135%	55	5	6
3月	66	56	3	8	71	107%	132%	59	5	8
4月	65	55	3	7	75	115%	121%	61	6	7
5月	64	52	4	7	62	97%	112%	49	4	9
6月	70	58	4	8	69	99%	118%	57	5	7
7月	64	49	6	8	70	110%	117%	55	6	9
8月	47	37	3	7						
9月	59	46	4	8						
10月	66	52	5	8						
11月	62	50	5	7						
12月	67	54	5	9						
7月累計	434	357	28	49	464	107%	124%	376	35	53

資料：財務省「貿易統計」
※：四捨五入により、合計や前年比が合致しない場合がある。

- 2026年1～7月の木材輸出額は376億円(前年同期比105%)となった。
- 国・地域別では、中国向け(同108%)、米国向け(同108%)、韓国向け(同111%)は前年同期を上回り、フィリピン向け(同91%)、台湾向け(同88%)は前年同期を下回った。
- 品目別では、丸太(同108%)、製材(同101%)は前年同期を上回り、合板(同98%)は前年同期を下回った。



○木材輸出額の推移（主な国・地域別、品目別）

輸出先	7月 単月					1～7月累計				
	輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円)			輸出額	前年比	主要品目内訳(百万円)		
	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板	(百万円)	(%)	丸太	製材	合板
中国	3,121	142%	2,629	211	24	20,820	108%	17,990	1,135	135
			149%	102%	83%			108%	96%	79%
韓国	315	136%	145	60	2	2,021	111%	1,184	332	9
			102%	128%	148%			106%	112%	84%
台湾	155	85%	44	33	0	1,274	88%	521	328	4
			53%	79%	—			91%	74%	92%
米国	581	94%	0	345	0	4,451	108%	0	2,695	28
			—	82%	—			—	113%	235%
フィリピン	821	66%	0	84	657	6,014	91%	0	796	4,653
			—	21%	85%			—	57%	98%
その他	526	125%	24	210	7	2,983	122%	134	784	22
			479%	264%	260%			171%	223%	192%
総計	5,519	112%	2,843	942	690	37,564	105%	19,828	6,070	4,850
			143%	79%	86%			108%	101%	98%

※資料：財務省貿易統計
丸太は、第44.03項、製材は第44.07項、合板は第4412.31号から第4412.39号までを集計。
四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



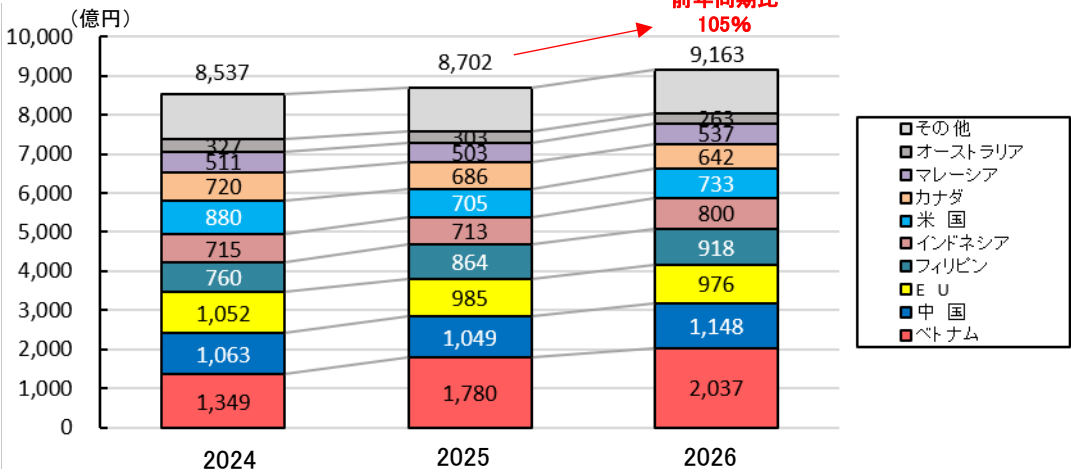
2026年7月の木材輸入額は、前月比102%、前年同月比111%の1,421億円。

○2026年7月の木材輸入額 (単位:億円)

年 国名	2025年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2026年 6月	2026年 7月	前月比	前年 同月比	2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
世界計	14,911	1,397	1,421	102%	111%	8,702	9,163	105%
ベトナム	3,153	306	301	98%	122%	1,780	2,037	114%
中 国	1,797	175	183	104%	118%	1,049	1,148	109%
E U	1,733	151	130	86%	78%	985	976	99%
(フィンランド)	543	47	38	82%	69%	304	316	104%
(スウェーデン)	416	38	28	74%	76%	246	229	93%
フィリピン	1,496	149	153	103%	115%	864	918	106%
インドネシア	1,231	126	121	96%	118%	713	800	112%
米 国	1,217	100	144	144%	152%	705	733	104%
カナダ	1,141	105	108	103%	96%	686	642	94%
マレーシア	841	84	73	87%	91%	503	537	107%
オーストラリア	447	42	32	76%	127%	303	263	87%
その他	1,856	159	176	110%	105%	1,115	1,110	100%
我が国の総輸入額	1,131,882	113,388	121,477	107%	128%	651,650	738,289	113%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.32%	1.23%	1.17%			1.34%	1.24%	

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。
2：EUに英国は含まない。
3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

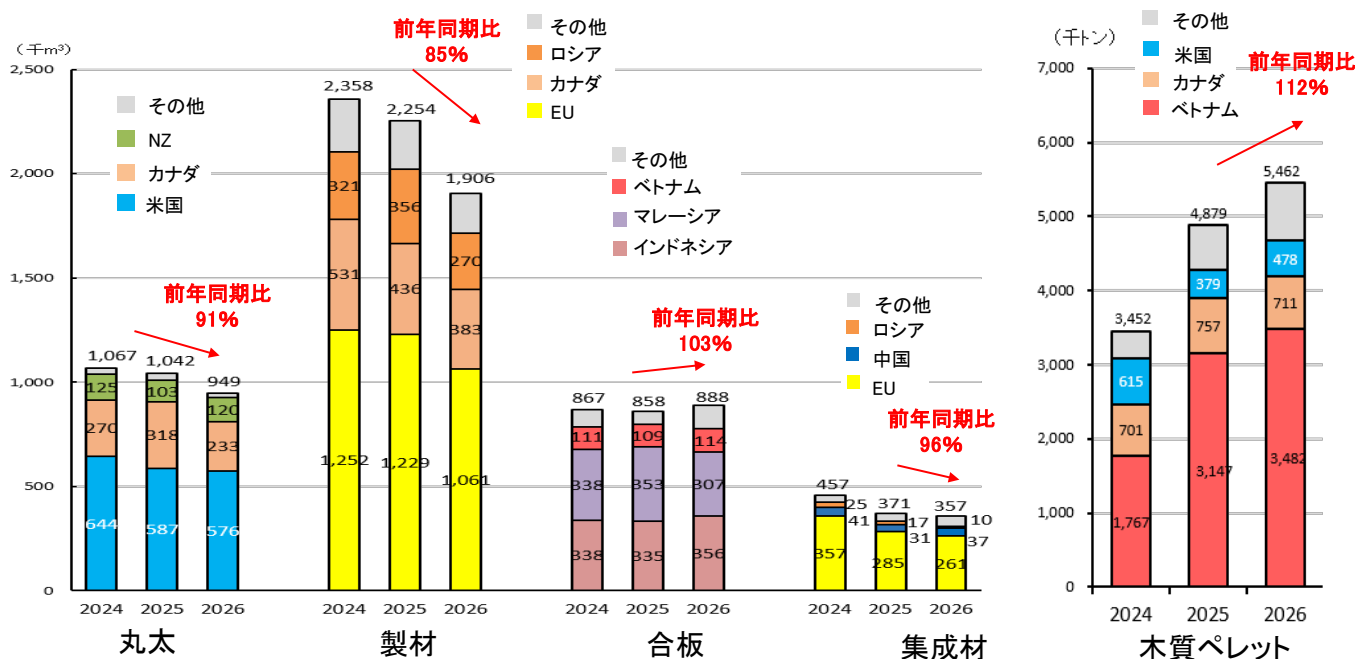
○2024～2026年の1～7月における木材輸入額



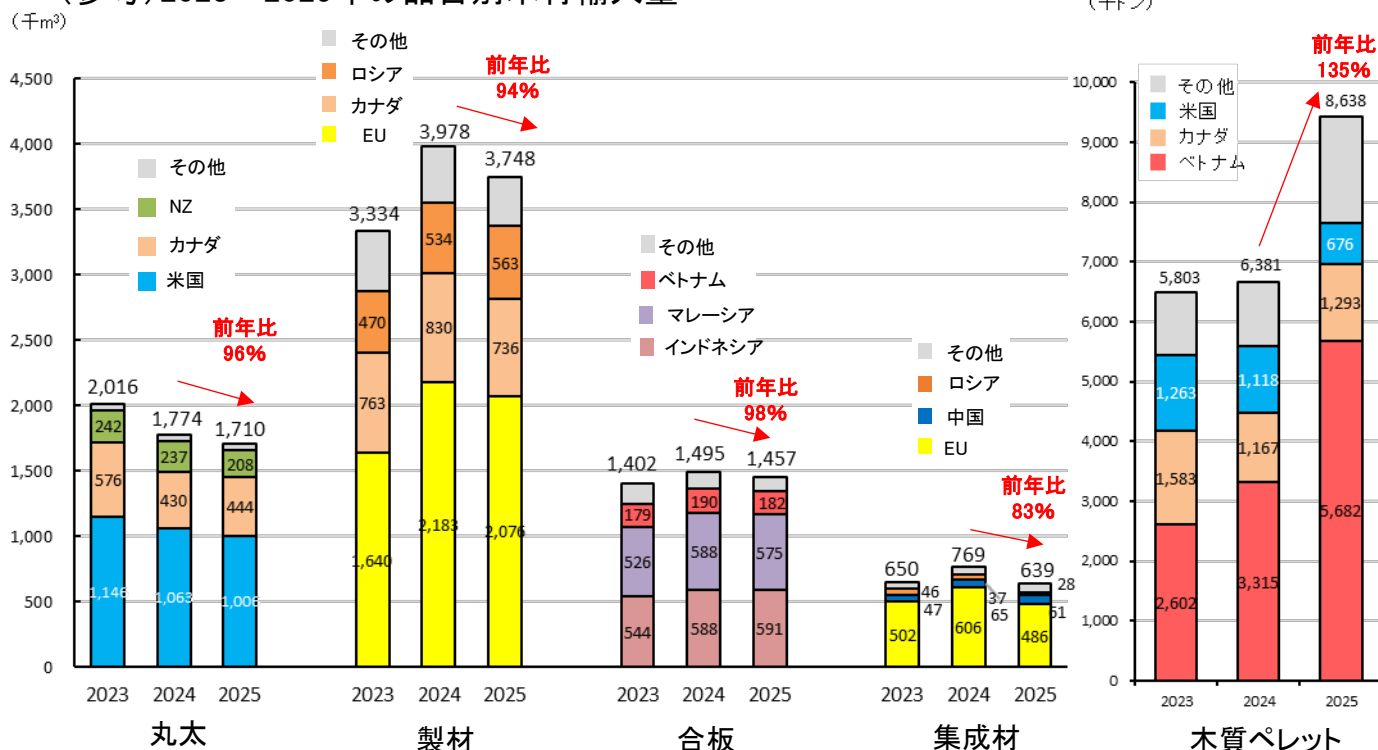
林産物輸出入情報-4 木材輸入量（累計）

- 2026年7月の品目別輸入量は、前年同期比で、丸太91%、製材85%、合板103%、集成材96%、木質ペレット112%。
- 2024年同期比では、丸太89%、製材81%、合板102%、集成材78%、木質ペレット158%。

○2024～2026年の1～7月における品目別木材輸入量



(参考) 2023～2025年の品目別木材輸入量



資料: 財務省貿易統計

注1: 2023年9月号より木質ペレットのグラフを追加。

林産物輸出入情報- 4

木材輸入量（丸太）

- 2026年 7 月の丸太輸入量は、前月比59%、前年同月比91%の10万m³。

（単位：千m³）

材種 国名	年	2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月	前月比	前年 同月比	2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
合 計		[100%] 1,710	[100%] 161	[100%] 95	59%	91%	[100%] 1,042	[100%] 949	91%
米 材		[85%] 1,450	[73%] 118	[98%] 93	79%	90%	[87%] 905	[85%] 808	89%
米国		[59%] 1,006	[70%] 112	[55%] 53	47%	96%	[56%] 587	[61%] 576	98%
カナダ		[26%] 444	[4%] 6	[42%] 40	698%	84%	[30%] 318	[25%] 233	73%
南洋材		[2%] 36	[0%] 0	[1%] 1	202%	116%	[2%] 22	[1%] 10	46%
インドネシア		[0%] 0	[0%] 0	[0%] 0	225%	225%	[0%] 0	[0%] 0	69%
マレーシア		[1%] 16	[0%] 0	[1%] 1	202%	115%	[1%] 9	[0%] 3	37%
パプア ニューギニア		[1%] 20	-	-	-	-	[1%] 13	[1%] 6	49%
ロシア材		-	-	-	-	-	-	-	-
ニュージーランド材		[12%] 208	[26%] 41	-	皆減	-	[10%] 103	[13%] 120	116%
欧州材		[1%] 12	[1%] 1	[1%] 1	80%	202%	[1%] 11	[1%] 9	86%
EU 計		[1%] 10	[1%] 1	[1%] 1	75%	190%	[1%] 9	[1%] 9	105%
アフリカ材		[0%] 2	-	[0%] 0	皆増	49%	[0%] 1	[0%] 1	93%
中 国		[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	29%	10%	[0%] 0	[0%] 0	66%
その他		[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	215%	442%	[0%] 1	[0%] 1	99%

資料：財務省貿易統計
注 1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。
2：米材は米国、カナダより輸入された材。
3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。
4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。
5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
7：「-」は輸入実績なし等。
8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報- 4

木材輸入量（製材）

- 2026年7月の製材輸入量は、前月比85%、前年同月比73%の26万m³。

(単位:千m³)

材種 国名		年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月	前月比	前年 同月比	2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
合 計		[100%] 3,748	[100%] 310	[100%] 265	85%	73%	[100%] 2,254	[100%] 1,906	85%
米 材		[22%] 813	[24%] 75	[25%] 66	87%	90%	[22%] 488	[22%] 411	84%
米国		[2%] 77	[1%] 5	[2%] 4	96%	52%	[2%] 52	[1%] 29	55%
カナダ		[20%] 736	[23%] 71	[23%] 61	83%	94%	[19%] 436	[20%] 383	88%
南洋材		[1%] 43	[1%] 4	[1%] 4	92%	91%	[1%] 25	[1%] 25	102%
インドネシア		[1%] 20	[1%] 2	[1%] 2	98%	79%	[1%] 11	[1%] 11	93%
マレーシア		[1%] 23	[1%] 2	[1%] 2	81%	96%	[1%] 13	[1%] 14	109%
パプア ニューギニア		[0%] 0	-	[0%] 0	皆増	皆増	[0%] 0	[0%] 0	207%
ロシア材		[15%] 563	[10%] 32	[15%] 39	123%	70%	[16%] 356	[14%] 270	76%
ニュージーランド材		[1%] 38	[2%] 5	[1%] 3	62%	85%	[1%] 22	[1%] 23	104%
チリ材		[4%] 142	[2%] 7	[6%] 16	251%	91%	[4%] 87	[4%] 80	91%
欧州材		[56%] 2,097	[58%] 181	[50%] 133	73%	66%	[55%] 1,244	[56%] 1,069	86%
EU 計		[55%] 2,076	[58%] 181	[50%] 132	73%	66%	[55%] 1,229	[56%] 1,061	86%
(スウェーデン)		[20%] 754	[23%] 72	[19%] 49	69%	73%	[20%] 458	[21%] 399	87%
(フィンランド)		[20%] 763	[20%] 63	[17%] 44	71%	56%	[20%] 447	[21%] 394	88%
アフリカ材		[0%] 1	[1%] 2	[0%] 0	0%	-	[0%] 1	[0%] 2	265%
中 国		[1%] 42	[1%] 4	[1%] 3	84%	68%	[1%] 26	[1%] 21	82%
その他		[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	85%	90%	[0%] 5	[0%] 5	96%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

- 2026年7月の合板輸入量は、前月比92%、前年同月比101%の14万m³。

(単位:千m³)

国名	年	2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月			2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
					前月比	前年同月比			
総輸入量		[100%] 1,457	[100%] 149	[100%] 138	92%	101%	[100%] 858	[100%] 888	103%
インドネシア		[41%] 591	[41%] 61	[37%] 51	83%	113%	[39%] 335	[40%] 356	106%
マレーシア		[39%] 575	[32%] 47	[34%] 47	100%	69%	[41%] 353	[35%] 307	87%
ベトナム		[12%] 182	[12%] 18	[14%] 19	106%	135%	[13%] 109	[13%] 114	104%
中国		[7%] 100	[14%] 21	[11%] 15	71%	137%	[6%] 54	[11%] 93	171%
ロシア		[0%] 0	[1%] 2	[4%] 5	265%	皆増	[0%] 0	[1%] 13	9,022%
その他		[1%] 9	[0%] 0	[1%] 1	197%	142%	[1%] 7	[1%] 5	73%

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。
4：EUに英国は含まない。

- 2026年7月の木材チップ輸入量は、前月比104%、前年同月比101%の86万トン。

(単位:千トン)

国名	年	2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月			2025年 1～ 7月	2026年 1～ 7月	前年 同期比
					前月比	前年 同月比			
総輸入量		[100%] 10,749	[100%] 824	[100%] 860	104%	101%	[100%] 6,389	[100%] 5,869	92%
ベトナム		[40%] 4,277	[33%] 268	[34%] 289	108%	91%	[39%] 2,515	[38%] 2,202	88%
オーストラリア		[13%] 1,424	[15%] 122	[10%] 90	73%	105%	[15%] 968	[14%] 803	83%
南アフリカ共和国		[11%] 1,140	[11%] 88	[13%] 115	130%	128%	[11%] 677	[11%] 632	93%
タイ		[10%] 1,126	[11%] 89	[17%] 146	163%	137%	[10%] 656	[13%] 768	117%
米国		[10%] 1,026	[7%] 61	[9%] 81	133%	95%	[9%] 547	[9%] 502	92%
その他		[16%] 1,757	[24%] 195	[16%] 140	72%	84%	[16%] 1,025	[16%] 963	94%

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2026年7月の集成材輸入量は、前月比96%、前年同月比81%の4.9万m³。
- 構造用集成材に限ると、前月比99%、前年同月比78%の4.0万m³。

（単位：千m³）

年 国名		2026年 1～7月	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月	前月比	前年 同月比	2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 639	[100%] 51	[100%] 49			[100%] 371	[100%] 357	
	うち 構造用集成材	[100%] 530	[100%] 40	[100%] 40			[100%] 309	[100%] 287	
E U		[76%] 486	[73%] 37	[74%] 36			[77%] 285	[73%] 261	
	うち 構造用集成材	[88%] 465	[91%] 37	[89%] 36			[89%] 274	[88%] 254	
フィンランド		[34%] 219	[38%] 19	[36%] 18			[33%] 122	[38%] 137	
	うち 構造用集成材	[41%] 218	[48%] 19	[44%] 18			[39%] 121	[48%] 137	
オーストリア		[13%] 80	[12%] 6	[10%] 5			[14%] 51	[10%] 36	
	うち 構造用集成材	[13%] 71	[15%] 6	[11%] 5			[15%] 46	[11%] 33	
ルーマニア		[9%] 60	[3%] 1	[6%] 3			[9%] 32	[6%] 21	
	うち 構造用集成材	[10%] 51	[3%] 1	[6%] 2			[9%] 29	[6%] 18	
中国		[10%] 61	[11%] 6	[12%] 6			[8%] 31	[10%] 37	
	うち 構造用集成材	[7%] 37	[9%] 4	[10%] 4			[6%] 17	[8%] 23	
ロシア		[4%] 28	-	[1%] 0			[5%] 17	[3%] 10	
	うち 構造用集成材	[5%] 28	-	[1%] 0			[6%] 17	[3%] 10	
その他		[10%] 64	[15%] 8	[14%] 7			[10%] 38	[14%] 49	
	うち 構造用集成材	[0%] 0	-	[0%] 0			[0%] 0	[0%] 0	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.52号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報- 4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2026年7月の木質ペレット輸入量は、前月比116%、前年同月比121%の94万トン。

（単位：千トン）

年 国名		2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月	前月比	前年 同月比	2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 8,638	[100%] 811	[100%] 938	116%	121%	[100%] 4,879	[100%] 5,462	112%
ベトナム		[66%] 5,682	[68%] 548	[57%] 531	97%	108%	[65%] 3,147	[64%] 3,482	111%
カナダ		[15%] 1,293	[17%] 135	[12%] 113	84%	91%	[16%] 757	[13%] 711	94%
米 国		[8%] 676	[0%] 49	[21%] 197	401%	208%	[8%] 379	[0%] 478	126%
マレーシア		[5%] 472	[7%] 57	[3%] 31	54%	178%	[5%] 266	[6%] 351	132%
インドネシア		[5%] 405	[1%] 12	[2%] 23	191%	48%	[5%] 262	[5%] 273	104%
その他		[1%] 110	[1%] 10	[0%] 43	424%	1,076%	[1%] 66	[3%] 167	252%

資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2026年7月のLVL輸入量は、前月比92%、前年同月比116%の4.7万m³。

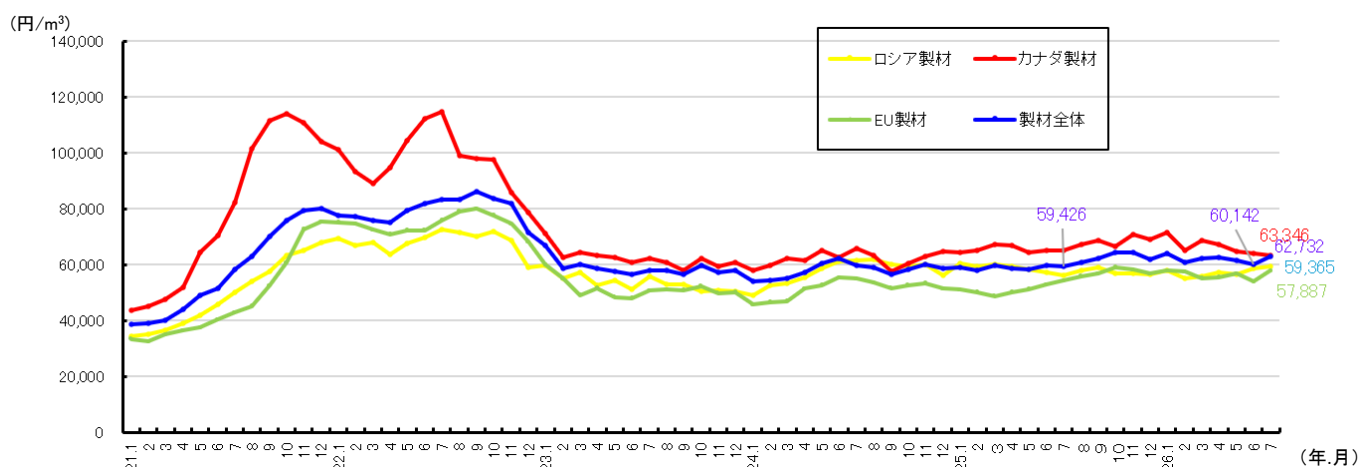
（単位：千m³）

年 国名		2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
			2026年 6月	2026年 7月	前月比	前年 同月比	2025年 1～7月	2026年 1～7月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 505	[100%] 51	[100%] 47	92%	116%	[100%] 299	[100%] 328	110%
中 国		[66%] 333	[60%] 30	[58%] 27	89%	99%	[67%] 201	[60%] 197	98%
ベトナム		[31%] 158	[38%] 20	[40%] 19	95%	157%	[30%] 89	[37%] 122	137%
インドネシア		[2%] 11	[2%] 1	[2%] 1	111%	91%	[2%] 7	[2%] 8	115%
その他		[1%] 3	[0%] 0	[0%] 0	700%	107%	[1%] 2	[0%] 1	49%

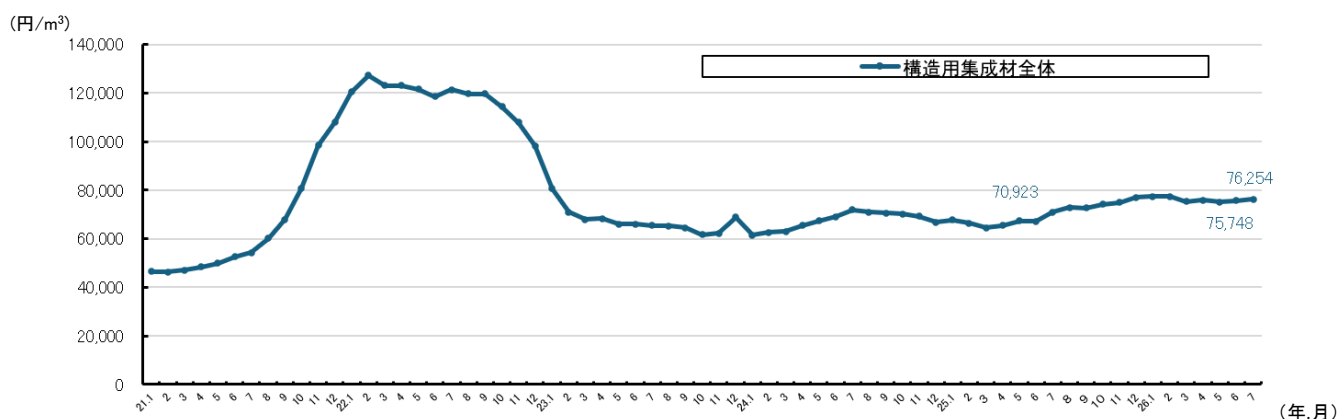
資料：財務省貿易統計
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。
2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。
3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2026年7月の製材輸入平均単価(総輸入額／総輸入量)は、前月比104%の62,732円/m³(前年同月比106%)。国別では、カナダが前月比99%の63,346円/m³(前年同月比97%)、EUが前月比107%の57,887円/m³(前年同月比107%)、ロシアが前月比101%の59,365円/m³(前年同月比106%)。
- 構造用集成材輸入平均単価は、前月比101%の76,254円/m³(前年同月比108%)。
- 合板輸入平均単価は、前月比104%の87,551円/m³(前年同月比115%)。

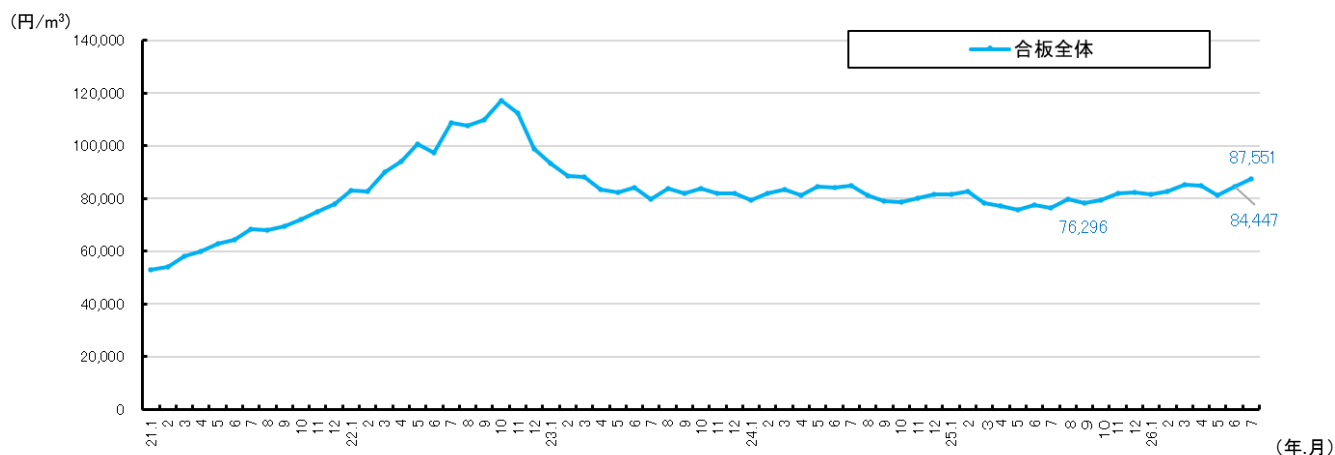
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報- 1

特用林産物の国内生産量

- 2025年の食用きのこ類の生産量は44万2,323トン（対前年比101.7%）となった。
- たけのこの生産量は1万6,176トン（対前年比77.5%）となった。
- 木炭の生産量は9,930トン（対前年比97.3%）となった。

〇きのこ類

単位:トン

品目 年次		きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2013	平成25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	82,048	2,034	14,241	67,807	4,328	63,479	23,738	126,321	4,501	122,840	56,763	37,798	2,961	35
2023	5	76,088	1,816	12,714	63,374	3,995	59,379	23,752	117,543	4,630	117,924	55,290	35,793	2,904	19
2024	6	72,974	1,574	11,015	61,959	3,272	58,688	23,724	120,678	4,004	117,536	56,609	34,639	3,003	51
2025	7	73,821	1,724	12,071	61,750	2,997	58,753	24,547	130,215	3,953	115,691	55,280	34,387	3,137	15

注：1 乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

〇その他食品

単位:トン

品目 年次		その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2013	平成25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635
2023	5	15,000	16,528	1,384
2024	6	14,000	20,865	1,497
2025	7	16,200	16,176	1,476

注：1 くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和7年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

〇非食品

品目 年次		非 食 用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	糠炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	t	t	t	t	kl	kl
2013	平成25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	91,516	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190
2023	5	1,651	23	898	275	14,236	526	5,715	4	100,167	160,184	40	1,663	1,032	3,294	3,958	1,537	174
2024	6	1,792	23	879	312	10,207	642	5,460	3	99,161	156,984	35	1,450	900	2,084	3,248	1,387	149
2025	7	1,885	32	863	416	9,930	536	5,574	18	104,619	157,981	37	1,335	941	2,079	2,848	1,314	102

注：1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。

資料：農林水産省『令和7年特用林産基礎資料』（2026年8月31日 公表）

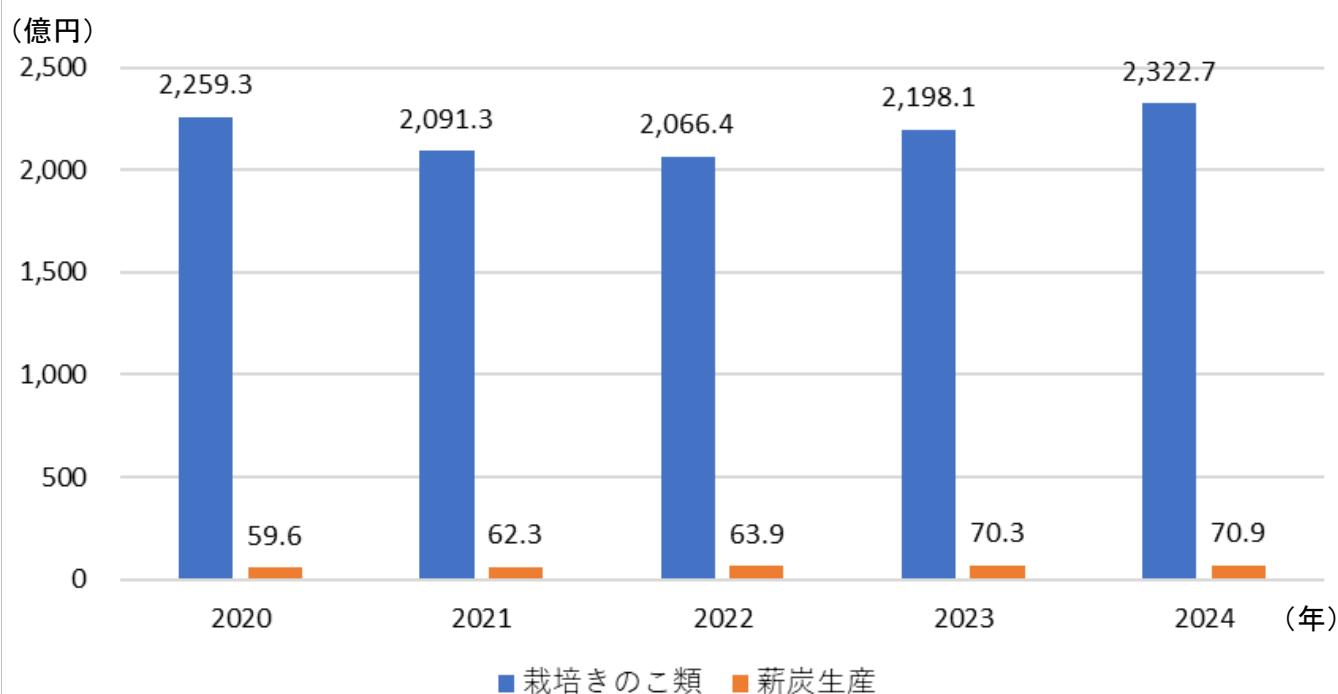
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2024年のきのこ類の林業産出額は、2,322.7億円（対前年比105.7%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、70.9億円（対前年比100.9%）となった。

（億円）

	2020	2021	2022	2023	2024
栽培きのこ類	2,259.3	2,091.3	2,066.4	2,198.1	2,322.7
薪炭生産	59.6	62.3	63.9	70.3	70.9

出典：林業産出額



資料：農林水産省「令和6年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2026年7月の乾しいたけの輸出量は7トン、輸入量は342トン。
- 2026年7月の木炭の輸出量は26トン、輸入量は4,386トン。

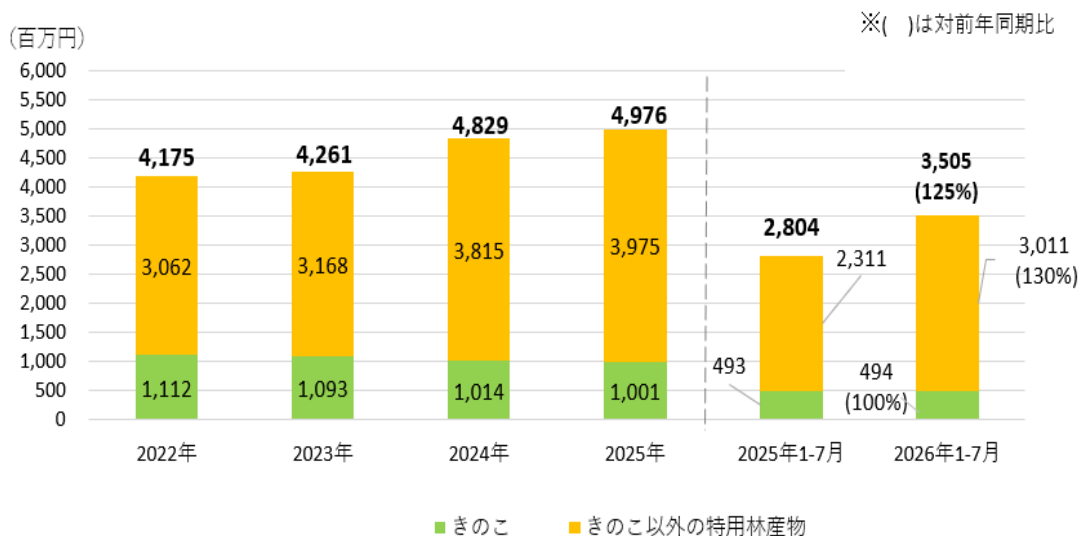
品目	単位	2022		2023		2024		2025		2026 7月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	36	4,596	36	4,350	40	4,292	57	4,268	7	342
生しいたけ	トン	14	2,262	16	2,162	16	2,691	13	3,583	1	203
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	76	24,882	47	22,831	42	24,563	42	24,873	13	2,551
まつたけ	トン	0	408	0	481	0	487	0	526	-	18
くり	トン	…	8,481	…	8,585	…	7,415	…	6,925	…	424
くるみ	トン	…	53,991	…	54,099	…	55,483	…	53,538	…	4,567
たけのこ	トン	…	153,619	…	130,160	…	127,708	…	125,467	…	9,959
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	5	10	7	5	7	15	7	15	1	-
生うるし	k g	…	23,880	…	28,140	…	29,420	…	25,395	…	0
つばき油	k l	…	218	…	210	…	138	…	136	…	2
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	159	0	163	0	130	0	120	-	3
桐材	m ³	…	9,813	…	9,910	…	9,337	…	8,824	…	748
木炭	トン	205	78,838	268	78,816	179	74,345	187	70,142	26	4,386
竹炭	トン	6	9,666	1	12,401	3	10,411	2	13,055	1	1,304
木酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	Kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	558	9,048	580	8,508	328	6,035	562	6,724	154	562
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	43,396	…	45,198	…	44,785	…	46,569	…	5,200
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

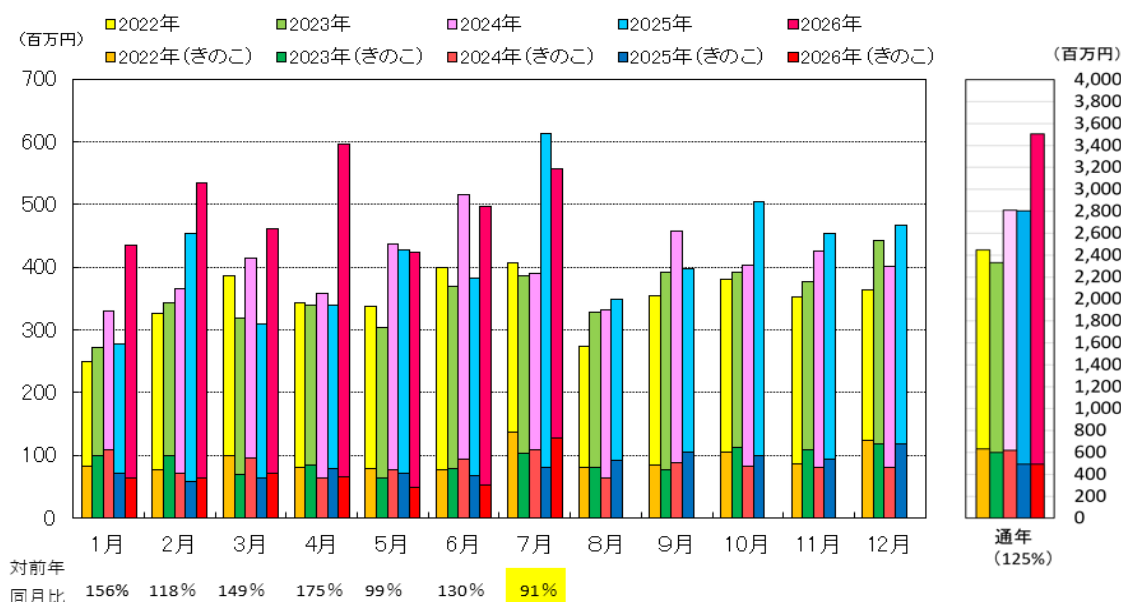
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの、「-」は該当数値が無いもの、「0」は四捨五入による単位未満を表している。

- 2026年1～7月の特用林産物輸出額は3,505百万円（前年同期比125%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は494百万円（対前年同期比100%）、きのこ以外は3,011百万円（対前年同期比130%）となった。
- 7月の輸出額は、558百万円（対前年同月比91%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）が127百万円（対前年度同月比157%）、きのこ以外は430百万円（対前年同月比81%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



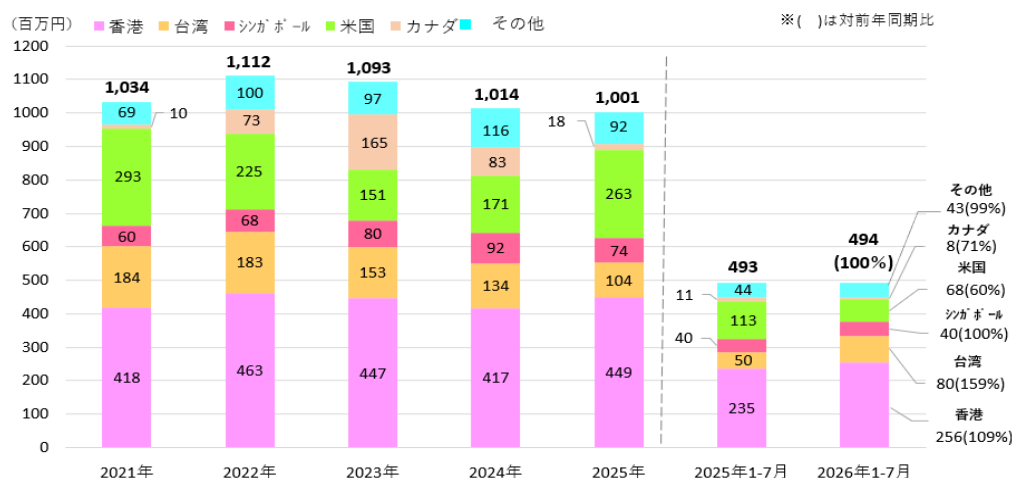
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
 ※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額②

- 2026年1～7月のきのこの輸出額は494百万円で、対前年同期比100%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比109%、台湾が159%、シンガポールが100%、米国が60%となっている。
- 2026年1～7月の輸出量は486トンで、対前年同期比94%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比96%、台湾が109%、シンガポールが94%、米国が63%となっている。

〇きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



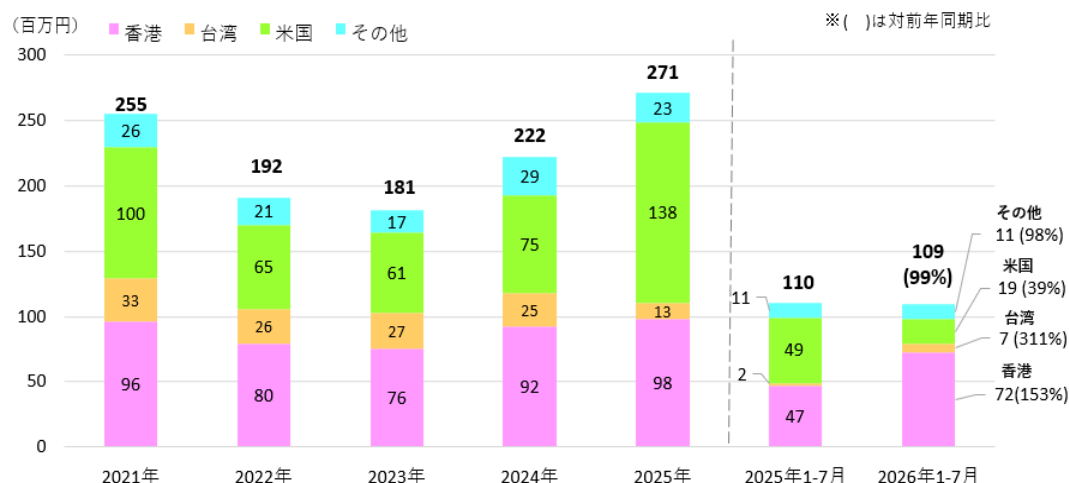
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2026年1～7月の乾しいたけの輸出額は109百万円で、対前年同期比99%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比153%、台湾は311%、米国は39%となっている。
- 2026年1～7月の輸出量は12トンで、対前年同期比54%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比145%、台湾が243%、米国が16%となっている。

〇乾しいたけ輸出額の推移（累計）

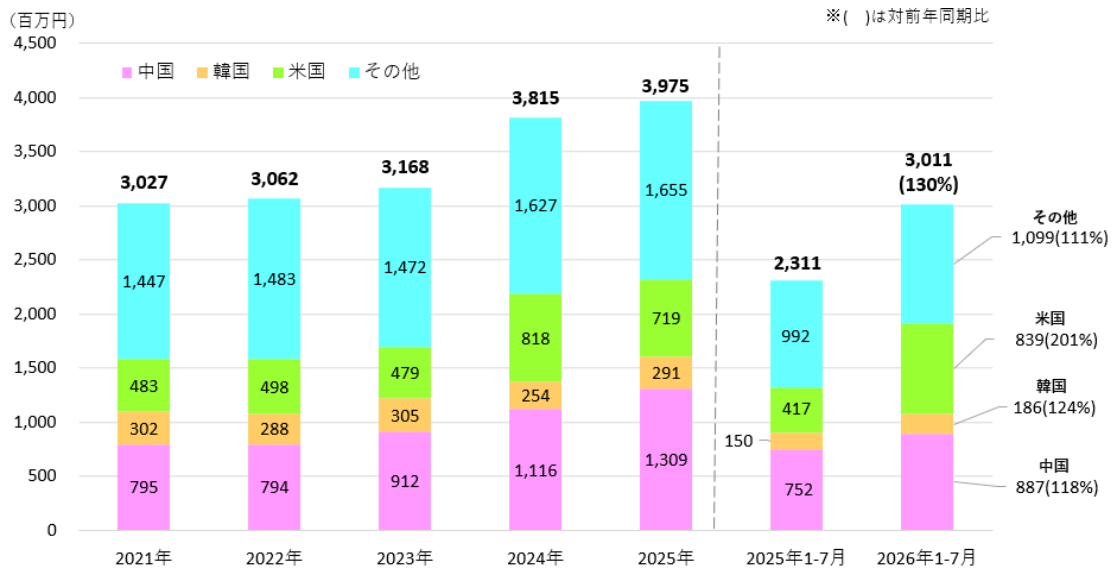


資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

- 2026年 1～7月のきのこ以外の特用林産物の輸出額は3,011百万円で、対前年同期比130%となっている。国別には、中国が対前年同期比118%、韓国が124%、米国が201%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比111%、植物性ろうが118%、テルペン油が203%となっている。
- 2026年 1～7月の輸出量は1,645トンで、対前年同期比108%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比108%、韓国が97%、米国が123%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計
※()は対前年同期比

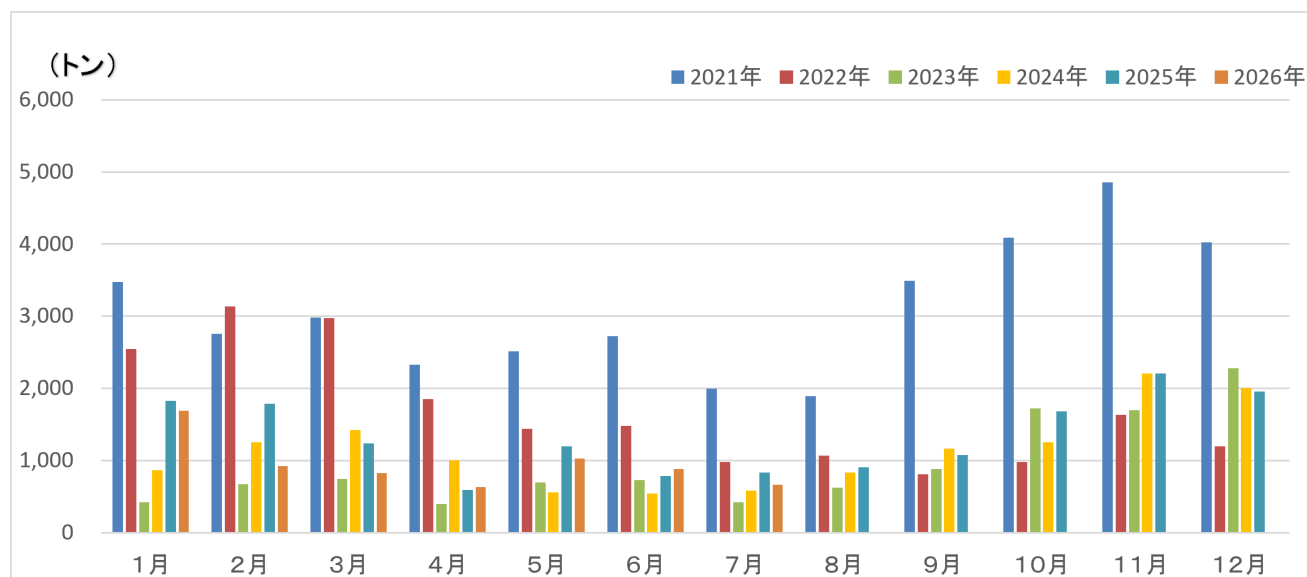
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2026年7月の輸入量は663トンであり、対改正前の同月比33.2%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726	1,702	2,278
2024年 (令和6年)	867	1,253	1,424	1,002	562	541	580	832	1,162	1,258	2,206	2,004
2025年 (令和7年)	1,831	1,787	1,237	590	1,200	785	834	906	1,076	1,681	2,205	1,955
2026年 (令和8年)	1,688	923	824	631	1,025	884	663					



資料：財務省貿易統計

特用林産情報- 6

きのこ類の卸売数量・単価

- 2026年8月のきのこの卸売数量は5,371トン（対前年同月比101.6%）となった。
- 2026年8月のきのこの卸売総額は2,462百万円（対前年同月比105.7%）となった。

きのこ類の卸売数量

単位：トン

	2023年	2024年	2025年	2025年 8月	2026年 3月	2026年 4月	2026年 5月	2026年 6月	2026年 7月	2026年 8月
生しいたけ	41,526	41,335	41,322	1,072	1,435	1,267	1,240	1,188	1,134	1,079
なめこ	14,428	14,329	15,056	502	527	486	470	506	478	437
えのきだけ	82,563	82,716	86,956	2,269	3,420	2,975	2,575	2,531	2,278	2,400
しめじ	55,221	52,450	51,949	1,444	1,859	1,640	1,519	1,503	1,368	1,455
合計	193,738	190,830	195,283	5,287	7,241	6,368	5,804	5,728	5,258	5,371

きのこ類の卸売総額

単位：百万円

	2023年	2024年	2025年	2025年 8月	2026年 3月	2026年 4月	2026年 5月	2026年 6月	2026年 7月	2026年 8月
生しいたけ	40,866	40,948	40,542	994	1,417	1,190	1,203	1,105	1,035	1,011
なめこ	6,593	6,866	6,921	196	241	222	231	237	224	211
えのきだけ	25,259	28,128	29,674	577	1,036	810	775	737	670	641
しめじ	25,701	25,892	25,784	562	827	727	718	663	596	599
合計	98,419	101,834	102,921	2,329	3,521	2,949	2,926	2,741	2,525	2,462

きのこ類の卸売単価

単位：円/kg

	2023年	2024年	2025年	2025年 8月	2026年 3月	2026年 4月	2026年 5月	2026年 6月	2026年 7月	2026年 8月
生しいたけ	984	991	981	928	987	939	970	930	913	937
なめこ	457	479	460	391	457	456	491	468	469	482
えのきだけ	306	340	341	254	303	272	301	291	294	267
しめじ	465	494	496	389	445	443	472	441	435	412

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」を基に作成。
注1：月別の値は、全国の中央卸売市場のうち、一部の主要卸売市場で得られた旬別の調査結果を単純積み上げて集計したものである。
注2：年別の値は、全国の中央卸売市場の各年の調査結果及び農林水産省が保有する全国の地方卸売市場における直近の年度の市場情報を基に算出された推定値である。

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 9月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
FORESTRISE2026（第5回次世代森林産業展）	2026年9月16日（水）～9月18日（金）	東京ビッグサイト 東2ホール	新たな思考とテクノロジーで森林・林業の景色をかえる！ 林業イノベーションが集まる展示会。 主催：産経新聞社 入場料：無料 事前申込：下記詳細情報URLのページのリンクからご登録ください。 詳細：FORESTRISE2026 第5回次世代森林産業展 https://www.forestrise.jp/2026/index.html
オーストリアにおける日本の林業専門家向け林業研修	2026年9月28日（月）～10月2日（金）	オーストリア・オーバーエスターライヒ州トラウンキルヘン森林教育センター	オーストリア政府が主催する日本人向けの林業実務研修で、森林施業や林業機械など、オーストリア林業の実践を現地で学ぶ研修プログラム。研修期間中は日本語の通訳が同行。 ※本研修は、農林水産省とオーストリア農林・地域・水資源管理省が署名した協力覚書の活動の一環として実施。 主催：森林・自然災害・景観に関する連邦研究研修センター 詳細：https://www.advantageaustria.org/jp/news/20260302_Special_Forestry_Training_Course_for_Japan.ja.html
GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）	2027年3月19日（金）～9月26日（日）	2027年国際園芸博覧会（横浜市上瀬谷）	「幸せを創る明日の風景」をテーマに、2027年3月から横浜で開催される国際園芸博覧会 主催：GREEN×EXPO協会 事前申込：入場チケット購入（2026年3月19日～前売りチケット販売中） 詳細：https://expo2027yokohama.or.jp/

地球と咲きに行こう。

The Blooming
Field of Planetary
Citizens.



公式マスコットキャラクター
トウクトウク
©Expo 2027



2027年国際園芸博覧会

開催期間：2027年3月19日(金) - 9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市

主催：GREEN×EXPO協会
(公益社団法人2027年
国際園芸博覧会協会)



GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

A1クラスの国際園芸博覧会
37年ぶりの日本開催

2027年に神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位(A1クラス)での開催で、BIE(博覧会国際事務局)認定の万博でもあります。

地球と。 咲きに行こう。

1000万株の花や緑が彩る、地球旅行へようこそ。

四季折々の花と緑が集い、

豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。
会期初めには、約40種600本の桜が咲き誇ります。
花緑によるヒーリング体験の中で、地球環境の明日を考える場となります。



©(公財)日本花の会

6か月の会期のなかで移り変わる花



二十四節気七十二候を意識し、繊細に変化する季節を活かした人の営みを風景として表現します。

- Village出展**
- | | |
|----------------------|--------------------|
| A 東急グループ | B KTグループ |
| C NTT東日本 株式会社 | D 株式会社 大林組 |
| E 三井グループ | F 鹿島建設 株式会社 |
| G 大和ハウスグループ | H 東邦レオ 株式会社 |
| I 竹中グループ | J 住友林業 株式会社 |
| K 相鉄グループ | L 清水建設 株式会社 |



※現時点でのイメージであり、変更となる場合があります。

公式スコットキャラクタータウンクワンク



前売りチケットが **断然、お得！**

入場チケット 好評販売中！

前売チケット

1日券 大人 4,900円 中人 3,000円 小人 1,400円

会期中販売チケット

1日券 大人 5,500円 中人 3,300円 小人 1,500円

※公式チケットサイト以外でも、旅行会社や販売代理店などでチケットを購入できます。
※来場日時予約は今後開始予定



チケットご購入は
公式チケットサイトから



発行 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 (2026年4月発行)

©Expo 2027

アクセス

●主な公共交通機関でのアクセス

※シャトルバスをご利用する際は、事前予約が必要です。



●主な高速道路でのアクセス



お問合せ先：
農林水産省農産局園芸作物課
花き産業・施設園芸振興室 (TEL: 03-6738-6162)

林業イノベーションが集まる展示会

FORESTRISE 2026

来場
のご案内

入場
無料

※要来場登録



来場登録はこちら

第5回 次世代森林産業展
2026年9月16日(水)~18日(金)

東京ビッグサイト 東2ホール
www.forestrise.jp

主 催



産経新聞社

企画協力

FOREST MEDIA WORKS

後 援



林野庁、オーストリア大使館 商務部(Advantage Austria)、[公社]国土緑化推進機構、[公社]大日本山林会
[国研]森林研究・整備機構、[一社]日本林業協会、[一社]日本林業経営者協会、[一社]全国木材組合連合会
全国森林組合連合会、[一社]日本森林技術協会、[一社]林業機械化協会、[一社]全国林業改良普及協会
全国林業研究グループ連絡協議会、全国素材生産業協同組合連合会、林業・木材製造業労働災害防止協会
森林施業プランナー協会、[一社]日本森林学会、森林利用学会[一社]日本木質バイオマスエネルギー協会
[一社]日本木質ペレット協会、特定非営利活動法人 日本森林管理協議会、緑の循環認証会議(SGEC/PEFCジャパン)
[一社]日本プロジェクト産業協議会 (順不同)

同時開催展(東1~3ホール)

●JIMA2026(第13回総合検査機器展) ●INTERMEASURE2026(第32回計量計測展) ●SENSOR EXPO JAPAN 2026
●地盤技術フォーラム 2026 ●第35回 2026知財・情報フェア&コンファレンス

FORESTRISEの来場者バッジにて、東1~3ホール全ての展示会に、バーコードチェックを受けるだけでご入場いただけます。

お問合せ先: 林野庁研究指導課技術開発推進室(TEL:03-3501-5025)

クリーンウッド法

素材生産販売事業者、木材関連事業者の皆さま

木材の合法性確認を支援します！

令和7年4月に改正法が施行されたクリーンウッド法（以下、CW法（※））では、素材生産販売事業者、第1種・第2種木材関連事業者に、**義務**や**努力義務**が発生します。

※正式名称「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」

素材生産販売事業者	第1種木材関連事業者	第2種木材関連事業者
【義務】 第1種木材関連事業者の求めに応じた情報提供	【義務】 ①原材料情報の収集、合法性の確認 ②記録の作成保存 ③木材関連事業者に対する情報伝達 ④定期報告（一定規模以上の事業者のみ）	【努力義務】 ①情報の受取 ②情報の保存 ③木材関連事業者に対する情報伝達
対象となる事業者の条件はこちら▶ 	【努力義務】 合法伐採木材等の利用を確保するために取り組むべき措置 ①体制の整備 ②合法性確認木材等の数量を増加させるための措置 ③違法伐採に係る木材等を使用しないようにするための措置 ④消費者等への情報伝達 ⑤登録事業者等であることの情報提供	

クリーンウッドシステム

CW法における記録の作成・保存や伝達等をサポート！

CW法に基づく原材料情報や合法性確認結果の保存・伝達等をweb上で行うことができるシステムです。本システムは利用者登録を行うことで無償でパソコン、スマートフォン、タブレット等で利用可能です。

1 原材料情報の登録

原材料情報（樹種、伐採地域、証明書）、その他任意情報を記録できます。

2 合法性確認結果の登録・記録の作成

原材料情報や関連情報、合法性確認結果、合法性確認の判断理由等をセットで記録できます。

3 情報伝達

原材料情報や合法性確認結果等の伝達を行えます。

納品情報、木質バイオマス証明関連情報、登録・認定情報等の任意情報も 一緒に伝達できます。

4 報告書作成・データ集計

登録木材関連事業者が登録実施機関へ提出する年度報告、一定規模以上の第1種木材関連事業者が国へ提出する定期報告を作成・提出できます。そのほか集計データとして活用できます。



▲クリーンウッドシステム利用者登録申請はこちら

クリーンウッド法の登録制度

木材関連事業者としての信頼UP！

合法伐採木材等の利用を確保するために取り組むべき措置を確実に実施する木材関連事業者を登録する制度

登録のメリット

- ・登録木材関連事業者の名称を使用することができます
- ・登録木材関連事業者ロゴマークを使用できます
- ・情報提供サイト「クリーンウッド・ナビ」に掲載されます

無登録の事業者との差別化を図ることができます！

登録木材関連事業者ロゴマーク



CLEAN WOOD

登録木材関連事業者は名刺、納品書、パンフレットやウェブサイト等に本ロゴマークを使用できます。

使用詳細はこちらから▶



【林野庁委託事業】令和8年度デジタル林業展開支援事業

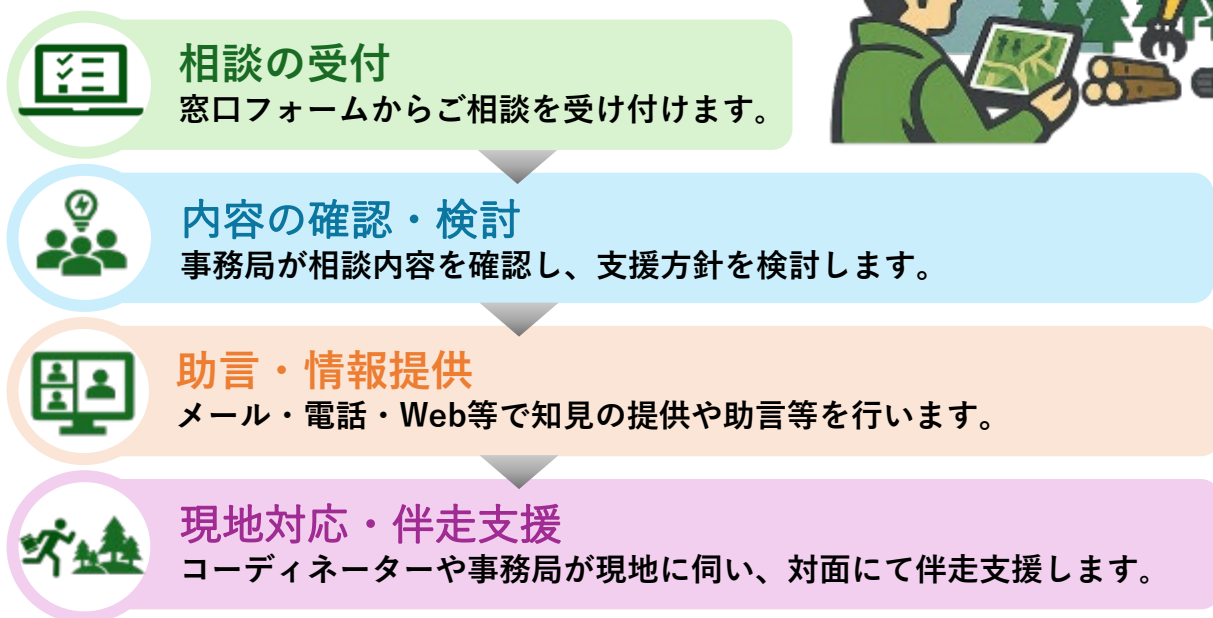
林業DX・デジタル林業実践よろず相談窓口を開設しました！

林業DXの実現に向け、デジタル林業の導入・実践に関する相談窓口を開設しました！地域の林業におけるデジタル技術の導入や現場での活用、関係者間のデータ連携等に関する課題やお悩みについて、ご相談を受け付けます。

ご相談内容に応じて、助言や情報提供のほか、必要に応じてコーディネーターや事務局による現地対応、対面またはWebでの打合せなど、個別の状況に応じた支援を行います。（相談・対応は原則無料※）※ただし予算に上限がございます。

相談から支援までの流れ（イメージ）

状況に応じて柔軟に支援を実施！



① 実施期間 2026年5月28日（木）から 2027年2月12日（金）まで

② 実践支援
相談窓口 窓口フォーム（Microsoft Forms）
<https://forms.cloud.microsoft/r/ykVYPPAZwM>



③ 相談例

- ・何から取り組めばよいか分からない
- ・ICTやLiDAR等の技術導入を検討したい
- ・現場での森林情報の活用方法を知りたい
- ・専門家を派遣してほしい

④ 備考

ご登録いただいた内容を整理・蓄積し、今後の支援の質の向上や取組の横展開に活用させていただく場合があります。

⑤ お問い合わせ 林業DX支援窓口（一般社団法人日本森林技術協会） TEL:03-3261-9112

デジタル林業に興味・関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：林野庁研究指導課技術開発推進室（TEL03-3501-5025）

-58-

・ 自然災害

・ 原油価格・物価高騰等

による影響を受けた
林業・木材産業の事業者の皆様の
資金繰りをお手伝いします！

対象事業	資金使途	保証期間	保証料率	保証割合	保証限度額
○造林・育林 ○素材生産 ○木材・木製品製造 ○林業種苗生産 ○薪炭生産 ○きのこ生産 ○木材卸売等※ ○木材製品利用※ ※制度資金利用時のみ	運転資金 設備資金	運転資金： 5年以内 (長期は7年以内) 設備資金： 15年以内	林野庁長官 の指定する 災害に限り 最大5年間 免除	原則100% (物価高騰等は80%)	8,000 万円

(受付期間)

- ・ 自然災害は、災害発生年度の翌年度末まで
- ・ 原油価格・物価高騰等は令和9年3月31日まで



※保証については一定の審査があります。

お気軽にご相談ください

独立行政法人 農林漁業信用基金

電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

林業関係者のみなさま



みどり認定

をご存知ですか？

「みどりの食料システム法」に基づき、省エネなどに取り組む
林業関係者の**認定制度がスタート**しています！

認定の対象となる取組例



・省エネ型林業機械の導入による
燃油使用量の削減



・きのこ栽培における断熱性能の高い被覆
資材等の利用による燃油使用量の削減

※写真はシイタケの菌床栽培における被覆資材の活用例

認定を受けるメリット

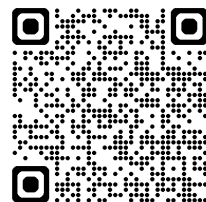
- さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます。
- 都道府県の無利子融資の特例が活用できます。
- 環境にやさしい事業を行っていることをアピールできます。

(令和6年5月)

みどりの食料システム法の認定を受けてみませんか？

- 林業は、温室効果ガスの吸収源となる森林を育む環境に優しい産業です。一方で、林業機械などの燃油使用による温室効果ガスの発生といった環境負荷が生じている側面もあります。
- 今般、このような環境負荷を低減し持続可能な林業を確立するため、**みどりの食料システム法**が施行されました。
- 法律では、環境負荷低減に取り組む林業関係者の5か年の計画を認定し、各種支援措置を講ずることとしています。
 - ✓ 「環境負荷の低減」の取組例
 - ・ 燃油使用低減や温室効果ガスの排出削減など

申請書の作成方法は
こちら！



□ みどり認定を受けるメリット

メリット① さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます！

- 計画認定を受けると、**国庫補助事業の採択審査のポイントが加算**されます。
対象事業：林業・木材産業循環成長対策交付金 など

メリット② 都道府県の無利子融資の特例が活用できます！

- 計画認定※1を受けると、林業・木材産業改善資金の**特例措置（償還期間の延長）**を活用できます。

融資	林業・木材産業改善資金
利率	無利子
償還期間	10年以内(据置3年以内)※特例措置では12年
貸付限度額	個人：1,500万円、会社：3,000万円 等

※1 林業・木材産業改善資金助成法に規定する林業・木材産業改善措置を含むこと。
※2 資金の詳細については都道府県に御相談ください。

□ みどり認定の申請方法



お問合せ先 農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
(TEL:03-6744-7186)

森林保険

森林所有者の皆さまの
安心を支える
公的保険制度です。



保険金のお支払いの対象となる 8 種類の災害



火災

山火事で
受けた損害



風害

暴風による
幹折れ、根返り
などの損害



水害

豪雨、洪水に
よる埋没、水没、
流失などの損害



雪害

豪雪、積雪による
幹折れ、根返りな
どの損害



干害

乾燥による
枯死などの損害



凍害

凍結、寒風など
による枯死など
の損害



潮害

潮風、潮水浸水
などによる枯死
などの損害



噴火災

火山噴火による焼
損、幹折れ、埋没、
根返りなどの損害

森林保険の Q & A

加入できる森林は？

原則人工林ですが、
間伐等の人手が加えられた
天然林でも加入できます。

誰でも申し込めますか？

個人、法人を問わずどなた
でもお申込みでき、保険契
約者になることができます。

相談・申込先は？

最寄りの森林組合、森林組
合連合会にお気軽にご相談
ください。

山火事・自然災害への備えはできていますか？

いざというときの備えに、森林保険をご活用ください。



たもちい そよりん



火災 (令和7年2月発生 岩手県)



風害 (令和5年8月発生 鹿児島県)

【加入例】

間伐後の風害や雪害に備えて・・・

樹種:スギ 林齢:30年生
面積:1ha 付保率:100%
森林の所在地 東京都
保険期間:1年間 割引:なし



保険金額(補償限度額)

279万円

保険料(掛け金)

8.732円/年



国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西口ビル9階)
TEL:044-382-3500 URL:<https://www.ffpri.go.jp/fic/>



ウェブサイト



Facebook



YouTube

企業とつながる『森業』実践ガイド パンフレットと普及動画のご案内

「森業(もりぎょう)」とは、森林が持つレクリエーションや環境保全といった多様な価値を活用して、都市部の人や企業を呼び込み、地域の活性化や豊かな森林づくりにつなげる取組です。

林野庁では、より多くの地域で「森業」の取組が進むよう、企業を対象としたプログラムを展開している各地域での体制づくりや、企業向けプログラムを構築するまでの流れについて紹介するパンフレットを作成・公開しました。

パンフレット



「自分たちの地域では何ができるか」「企業とどのような連携が考えられるのか」を具体的に思い描き、次の一歩へとつなげるためのガイドとして、ご活用ください。

近年、企業において、豊かな森林空間を活用した体験プログラムを、企業研修等に取り入れ、エンゲージメント向上や、組織・事業の変革・構築等を目指す取組が拡がりを見せています。

森林空間を舞台とした取組がもつ可能性や、その価値をより深く理解いただくために、専門家の知見や現地での実践を紹介する動画を作成・公開しました。

これからの森業のポータルサイト

森業 portal

普及動画&パンフレットはこちら

林野庁 森業ポータル

検索



動画

本経営に役立つ 企業×森のプログラム



部長・支店長合宿等で「森での企業研修・オフサイトミーティング」を取り入れているエネルギー会社の実際の研修の様子を紹介します。あわせて、武蔵野大学ウェルビーイング学部長の前野 隆司教授、国際医療福祉大学医学部の落合博子教授から、森のプログラムの効果をエビデンスとともにご紹介します。

お問合せ先：林野庁 森林利用課 森業振興室 (TEL 03-3502-8240)